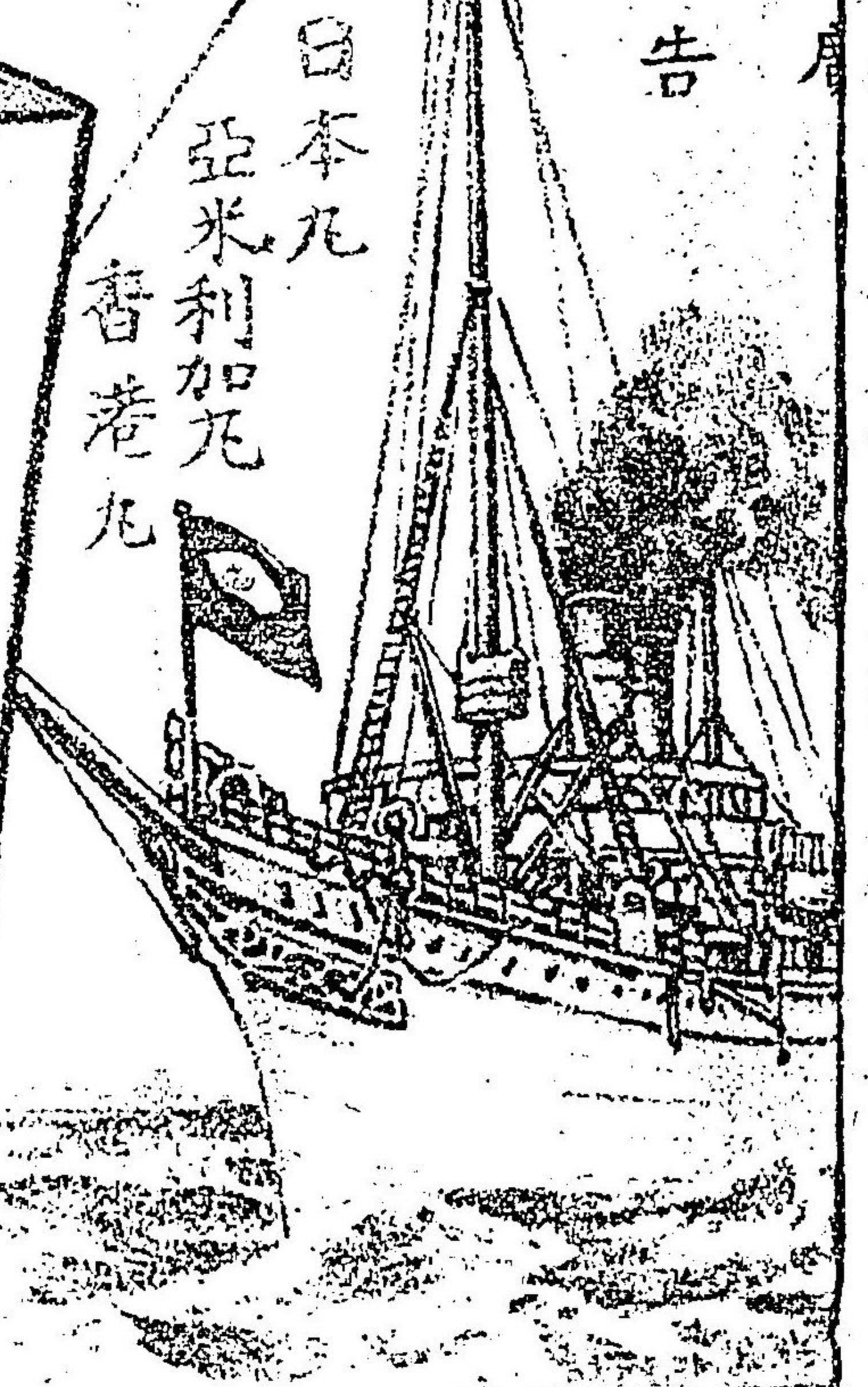
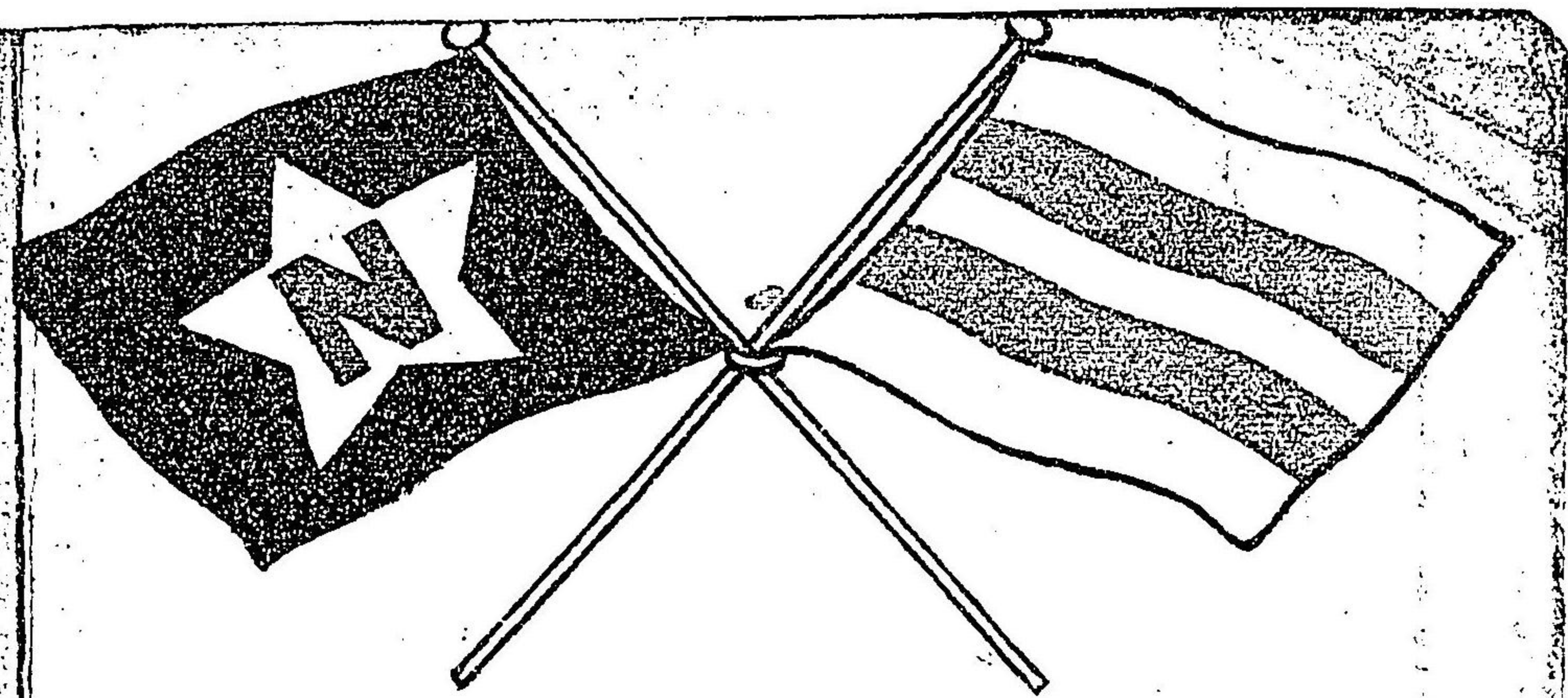


37
260



告 廣
東京市日本橋區北新堀町
東洋汽船株式會社
橫濱出張所
桑港出張所
神戶代理店



日本米國間最短距離

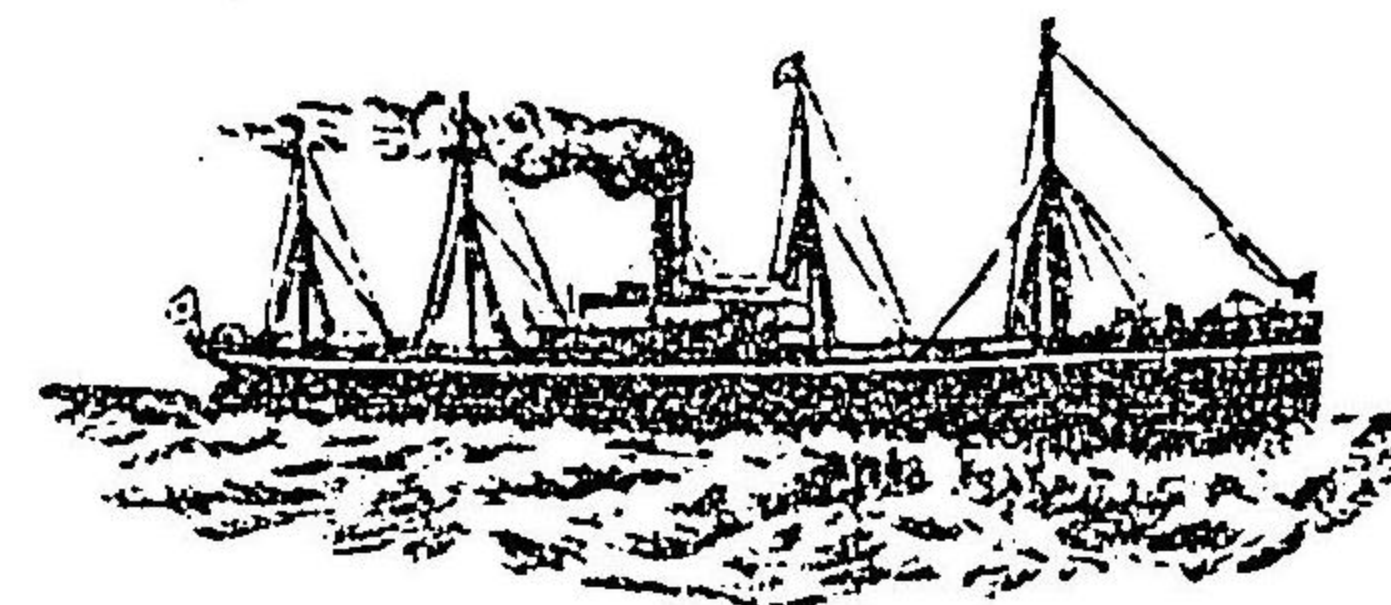
總噸數貳拾萬噸 資本貳千貳百萬元

日本郵船株式會社

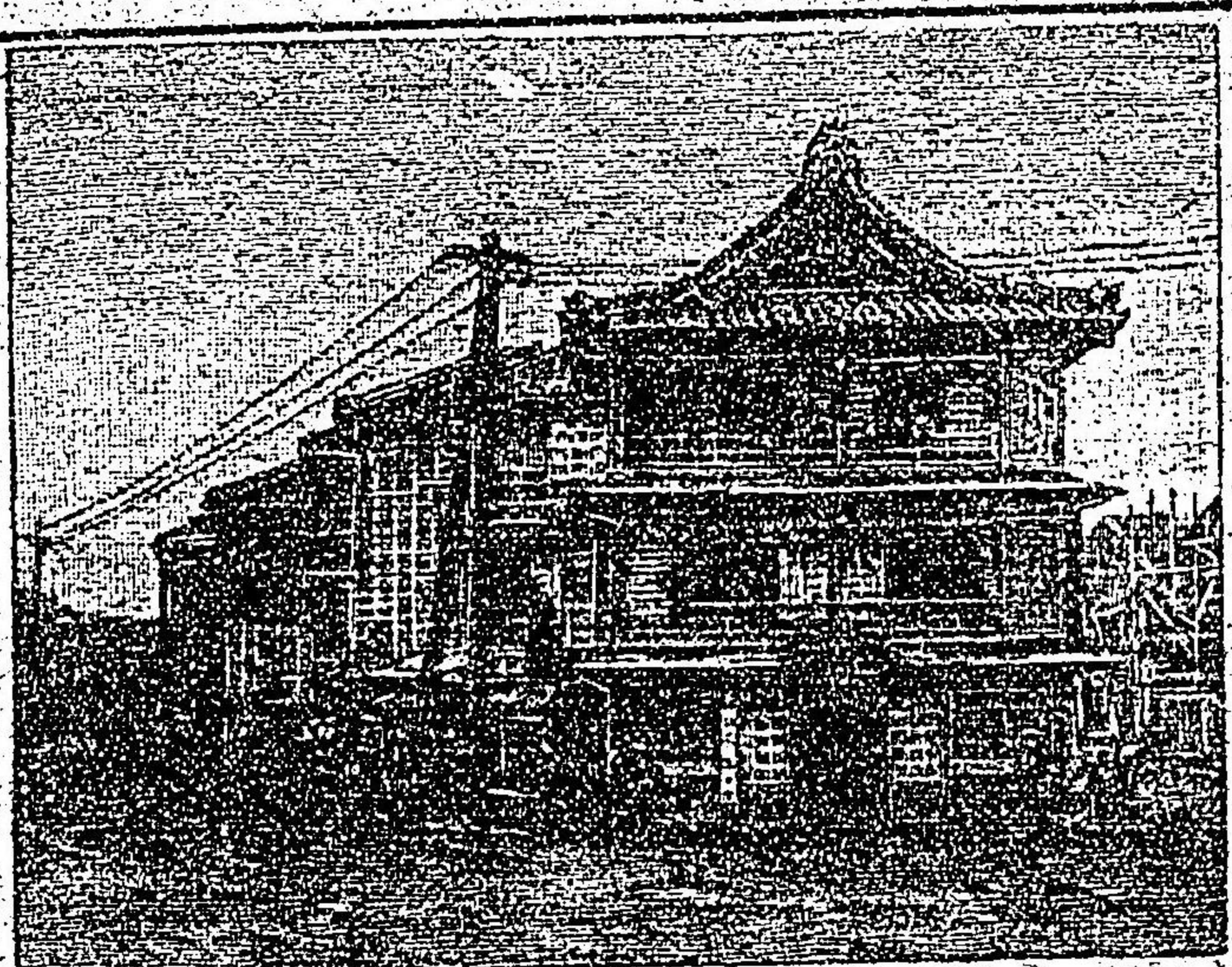
東京市麴町區有樂町壹丁目壹番地
 電話號碼 本局 六百六拾七番
 支店 七百九拾五番
 支店 五百九拾五番

橫濱支店 海岸通四丁目
 神戶支店 海岸通壹丁目

信濃丸
 伊豫丸
 加賀丸
 旅順丸
 土佐丸
 金丸



シアトル代理店
 北米ワシントン州シアトル
 大北鐵道會社

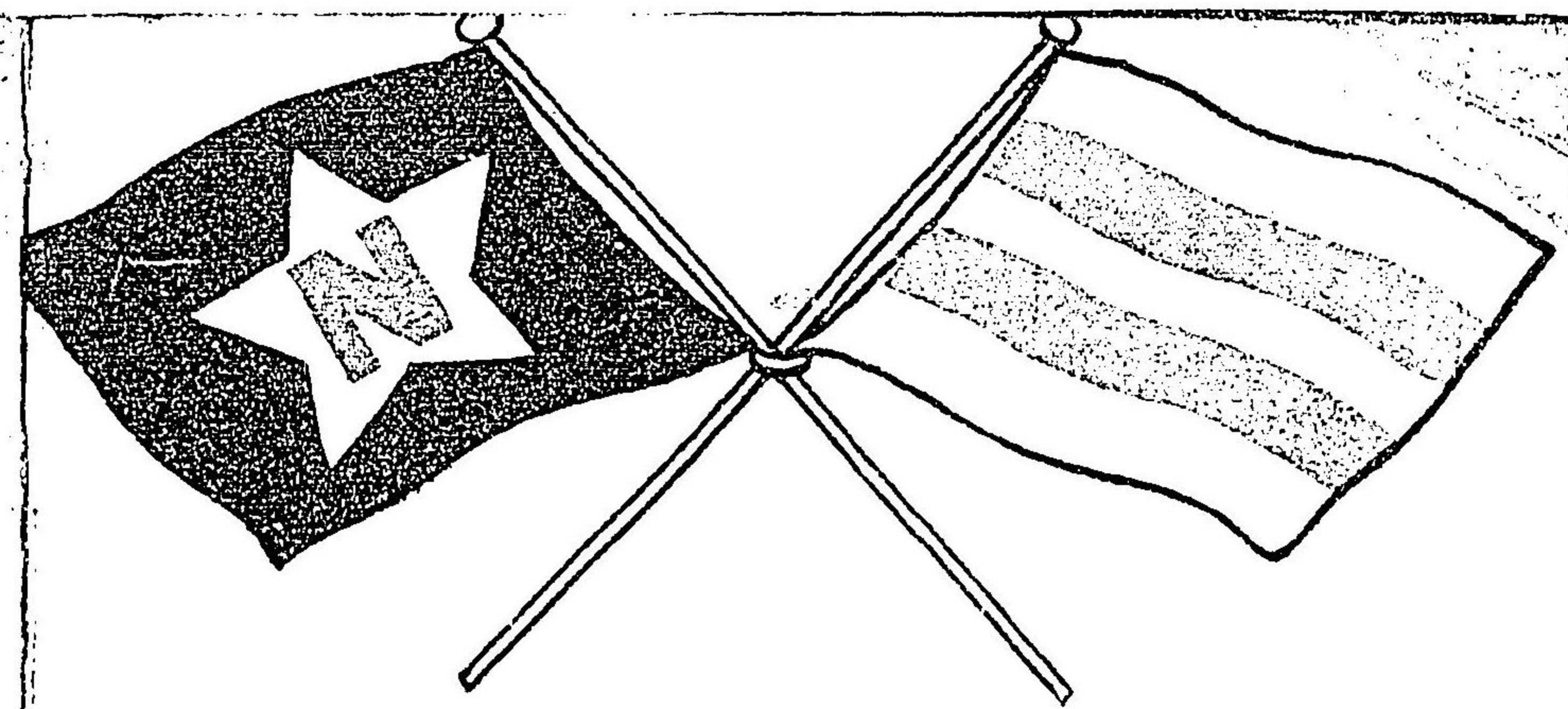


日本郵船株式會社
 客取次所
 取扱問屋
 各國漁船會社

旅館上州屋

前付の一

◎日本本土、四國、九州、北海道、台灣、其他諸港
 ◎支那、朝鮮、香港、上海、其他諸港
 ◎南東印度、濠洲港
 ◎歐羅巴諸港、經龍敦港
 ◎布哇、米國、加奈陀諸港
 右各國到る處の汽船汽船接續切符取扱致候
 内外渡航一切御周旋致候
 輸出入品の御依頼に應じ申候
 每船送迎の爲め確實の者數名派出致候
 に付此等者に萬事御下命被下度候
 橫濱停車場前 (特電七二)

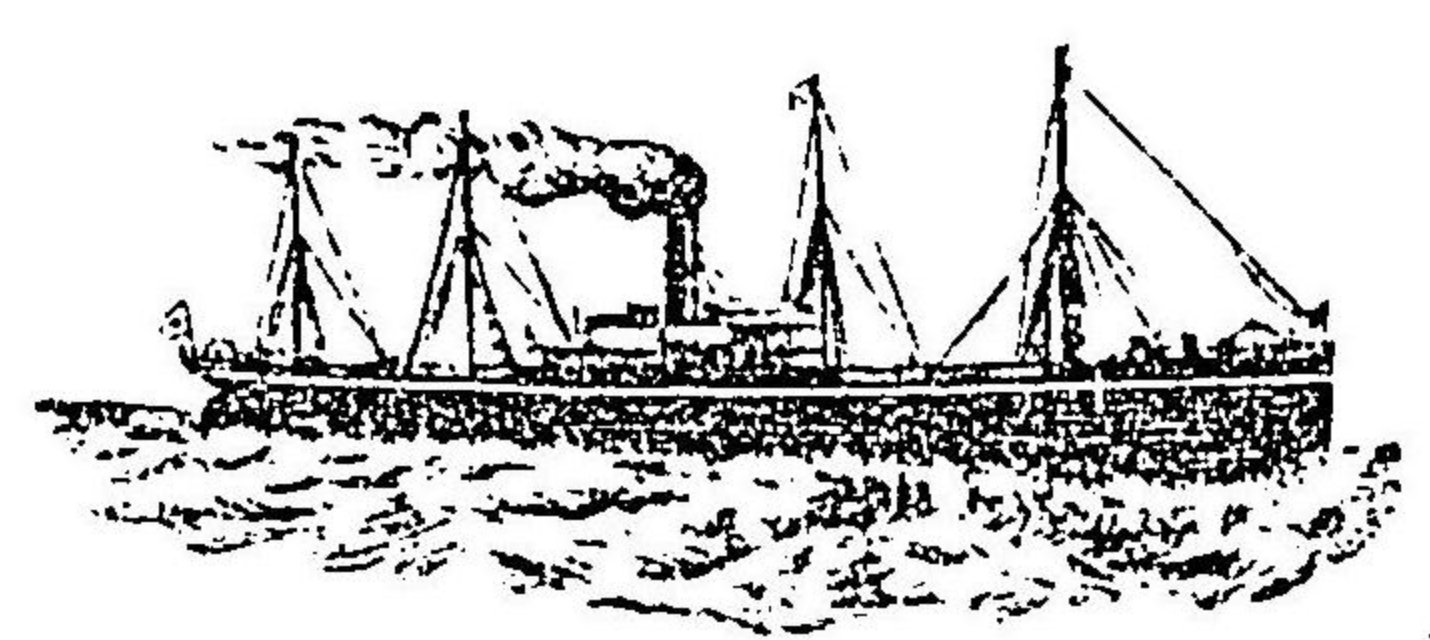


日本米國間最短距離
 總噸數貳拾萬噸 資本貳千貳百萬元

日本郵船株式會社

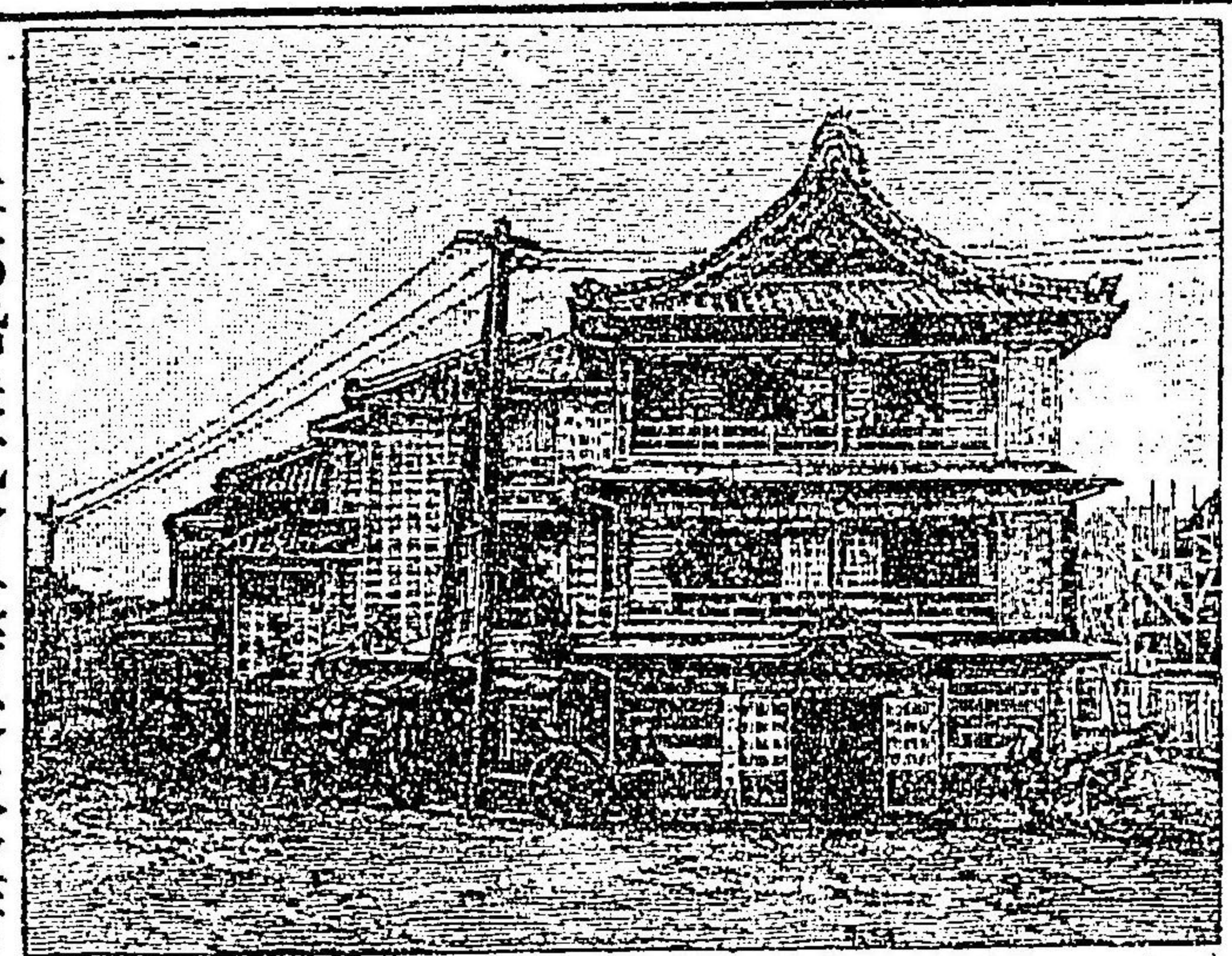
東京市麴町區有樂町壹丁目壹番地
 電話號碼 本局 六百六拾七番
 支店 一千九百七十五番

信濃丸 伊賀丸 加賀丸 旅順丸 土佐丸 金剛丸



橫濱支店 海岸通四丁目
 神戶支店 海岸通壹丁目

シアトル代理店
 北米ワシントン州シアトル
 大北鐵道會社



日本郵船株式會社荷客取次所
 各國汽船會社取扱問屋

◎日本本土、四國、九州、北海道、台灣、其他諸港
 ◎支那、朝鮮、香港、上海、其他諸港
 ◎南東印度、濠洲港
 ◎歐羅巴諸港を経て龍敦港
 ◎布哇、米國、加奈陀諸港
 右各國到る處の汽船汽船接續切符取扱致候
 内外渡航一切御周旋致候
 輸出入品の御依頼に應じ申候
 毎船送迎の爲め確實の者數名派出致候
 に付此等者に萬事御下命被下度候
 橫濱停車場前 (特電七二)

旅館 上州屋

前付の一

●各國汽船乘客取扱廣告●

●大平洋橫斷線
布哇、米國、加奈陀、各港行

●支那、朝鮮、沿岸線
香港、上海、天津、仁川、浦沙、諸港行

●濠州線
南支那、東印度、濠州、各港行

●歐羅巴線
支那、印度、地中海各港ヲ經テ倫敦行

●日本沿岸線
本土、四國、九州、北海道、臺灣、各港行

各線共御照會ニ依リ最モ正確ニ發着ヲ御報

告可致候
御乘船御上陸共最モ御便利ニ御送迎可致候

各國汽船乘客貨物取扱店
日本郵船株式會社取次店

橫濱市本町五丁目(正金銀行隣)

旅館 津久井屋長五郎

電話 二百三十六番

WADAIKO HOTEL

YOKOHAMA.

内外汽船汽車發着毎ニ御旅客ノ
送迎及ビ御貨物運送極メテ御便
利ニ取扱仕候也

歐米各國御乘客貨物汽船問屋

橫濱停車場前

改良
勉強

旅館和田彦

加奈陀領、合衆國、歐洲、世界一週及支那

其他旅行通切符賣捌申候

殊ニ初御渡航花客ノ御便利ヲ計リ御通

知次第運賃表旅行案内書類等送呈可仕
候

SANUKIYA HOTEL.

OTAMACHI ROKUCHOME,
YOKOHAMA.

内外汽船乘客貨物並ニ
鐵道荷物取扱所

旅 館 さぬきや 榮太郎

内外汽船汽車發着毎ニ御送迎仕候
手荷物等總テ懇切ニ御取扱可仕候

横濱市太田町六丁目辨天橋際

前付の五

HOTEL C. FUKUI.

NO. 86, BENTENDORI GOCHOME
TELE. NO. 410. YOKOHAMA, JAPAN.

日本郵船會社
東洋汽船會社
太平洋汽船會社
加西洋鐵道會社
加奈陀太平洋鐵道會社
北太平洋鐵道會社
此他歐米各國

荷客并 鐵道貨物取扱所

旅 館 福井忠兵衛

特(電話四百十番)
横濱市辨天通五丁目
八拾六番地

前付の四

Hiroshimaya Hotel

内外汽船乘客貨物並ニ鐵道荷物取扱所

横濱市本町五丁目角三階
正金銀行隣角 (電話四百九十四番)

旅館 廣島屋吉五郎

常店ヨリ西波止場へ四丁停車場へ貳丁新波止場前ニ付乗船上陸等ニハ最モ御便利銀行會社等何レモ接近當地御用向ニハ至極御都合宜敷候毎船送迎人ヲ差出シ手荷物ノ運搬其他万事注意御取扱申上候間續々御投宿奉願候也

歐米 各國 汽船乘客貨物取扱問屋

三階家旅館 大せゝ屋卯吉

日本横濱市本町六丁目
電話長距離九百五十三番

歐米渡航諸彦へ

御便利ノ為
メ各國汽船
ヲ調製シ御申
送迎並ニ御
御送取可申候
他御取扱可申
仕其他取可申
可仕其他取可
呈可仕其他取
進呈可仕其他
第手續等確實
ノ御引立ノ程
御手續等確實
倍舊御引立ノ
横濱市海岸通
◎汽船問屋兼
旅業

蓬萊家

(電話二四八)

HOTTEL HORAIYA.

NO.20 Kaigandori-gochome,
Yokohama, Japan,
(Tel. No. 248.)

館 旅

屋問船汽國各米歐

平喜屋阪松

町濱元市濱横

(番壹九貳話電)

一柳松庵編

增訂

渡米之葉

東京

掃葉軒藏版

明治卅五年

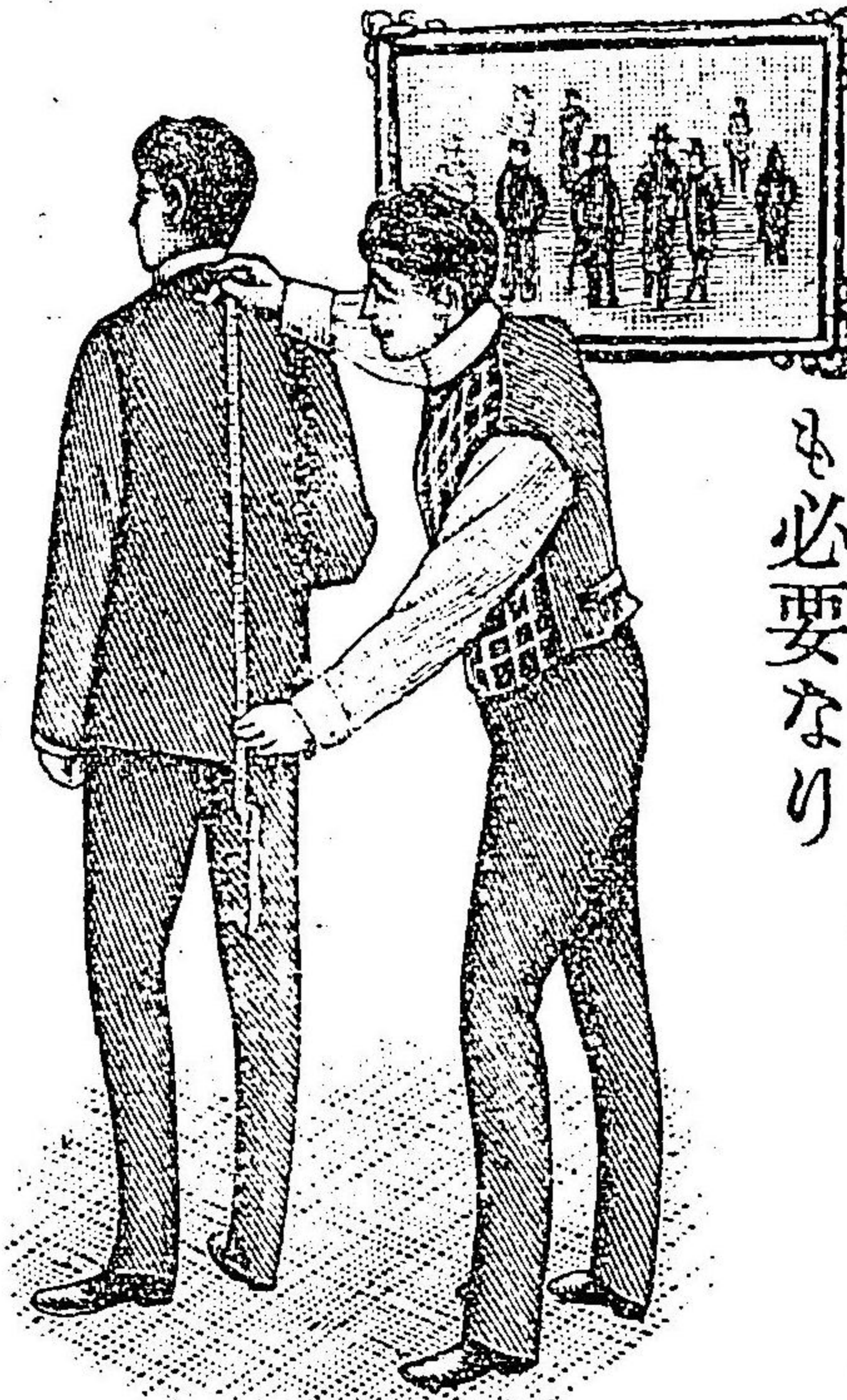
英佛毛織物直輸入販賣

(米國裁縫師)

澤田洋服店

東京市橋區尾張町二丁目二十番地

一弊店主は數年間米國に於て斯業を研
修したるものなり
一米國の流行に隨ひ精製するは弊店の
特色なり



一渡米諸氏は日本風の洋服を注文せず
米國風の洋服を装ふて行くことは最
も必要なり

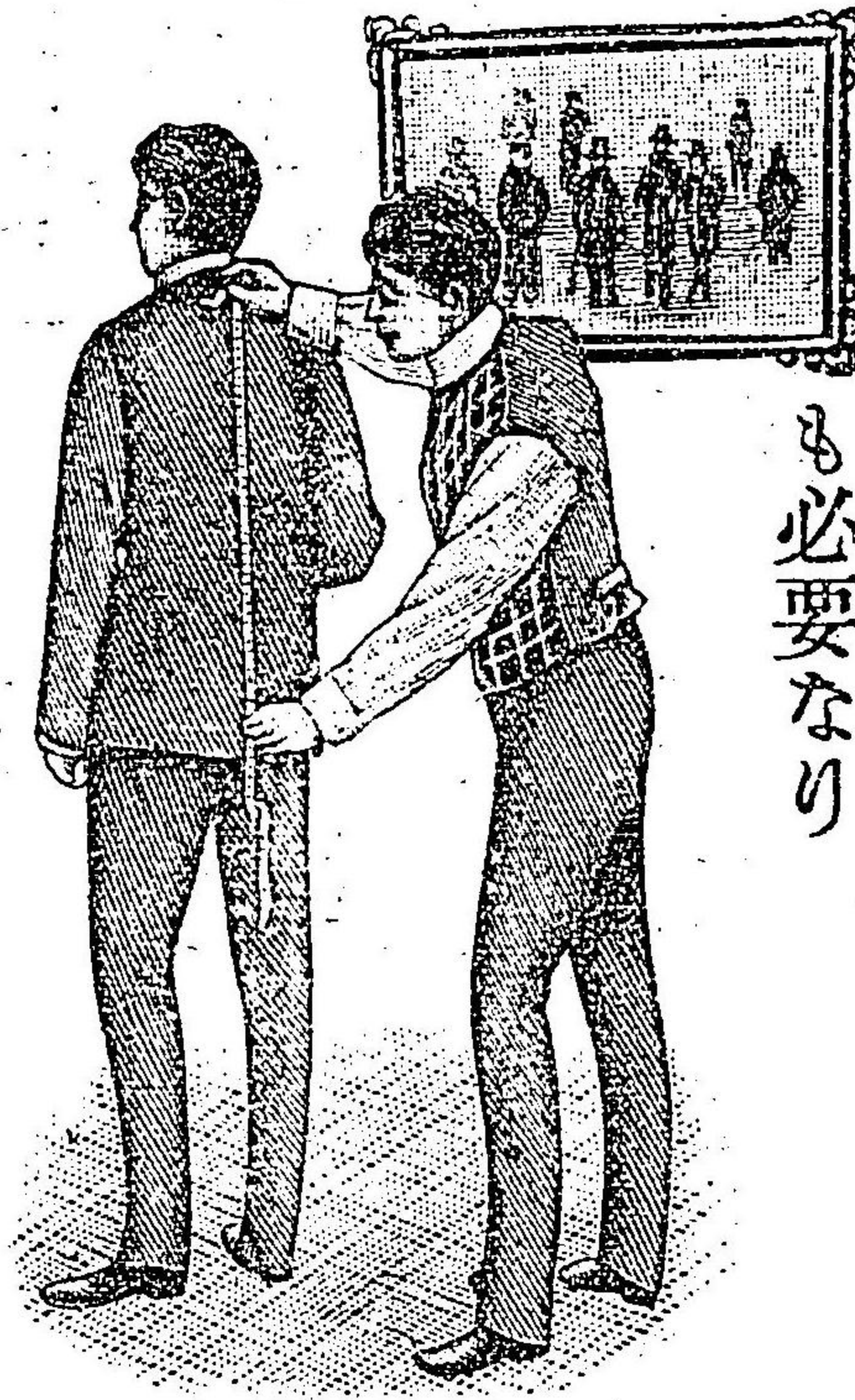
前付の八

英佛毛織物直輸入販賣
(米國裁縫師)

澤田洋服店

東京市橋區尾張町二丁目番地

渡米諸氏は日本風の洋服を注文せず
米國風の洋服を装ふて行くことは最
も必要なり



弊店主は數年間米國に於て斯業を研
修したるものなり
米國の流行に隨ひ精製するは弊店の
特色なり

前付の八

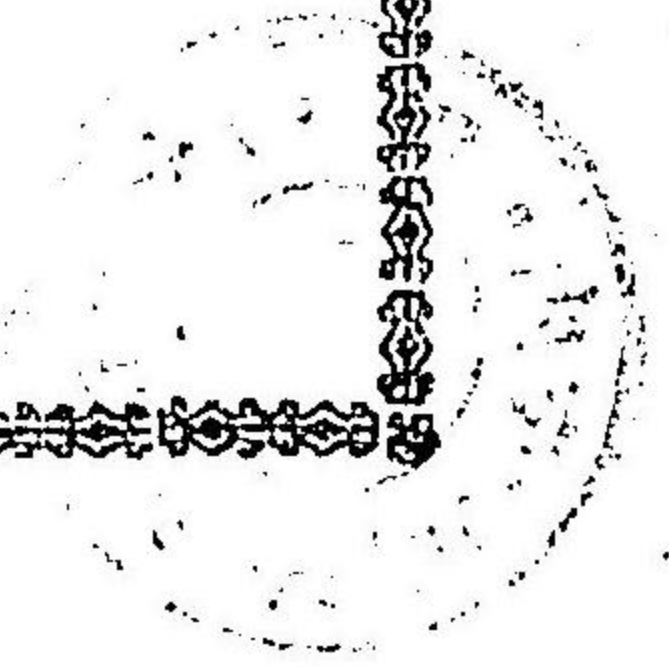
一柳松庵編

增訂 渡米之葉

東京

掃葉軒藏版

明治卅五年



近刊豫告

日本勳四等 米國神學博士 ハリス先生閱并序
在米國一柳讓二編

渡米之榮續編

通俗和英いろは字引

寸珍携帶至便

洋裝全壹冊

本書は日用井商用上必要なる英辭とその發音とをわが假名にて只普通俗實用的に編綴し尙ほ之に漢字をも附加したるものにして他の和英字書類とは頗るその趣を異にし何人にもいさ易く了解し得べき新選の和英字引なり就中英語不通の新渡米者には「渡米之榮」と相俟て必携の書なること例へば彼は親切なる導者にして此は恰好なる通辭なるが如く共に欠くべからざる好同伴といふべし……(成版の上は更に廣告すべし)……

改版の辭

(1) 渡米之榮

回顧すれば去年の今月、編者が初めて渡米の砌、適切なる渡航案内書の皆無なりしがため、自ら勘からざる不便之感ぜしものから、いたく後の初旅人を想ひ遣り、殊に海外移住の奨励を要すべき時節柄、況んや我が同胞の渡米者日を追ふてその數を増せるこの機に際し、最も緊要なる路導たるべきもの當時ただ稀なりしを慨し、すなはち已が親しく實踐した路筋の要處々々に、所謂枝を折りて導となしたものをば、着米間もなくかさあつめ、その名も「渡米の榮」と題して勿々之れを公にした、幸ひ時の需要に適ひたるものにや、數多諸君の愛讀を辱うしたは、まことに編者の此上なき榮として深く感謝す

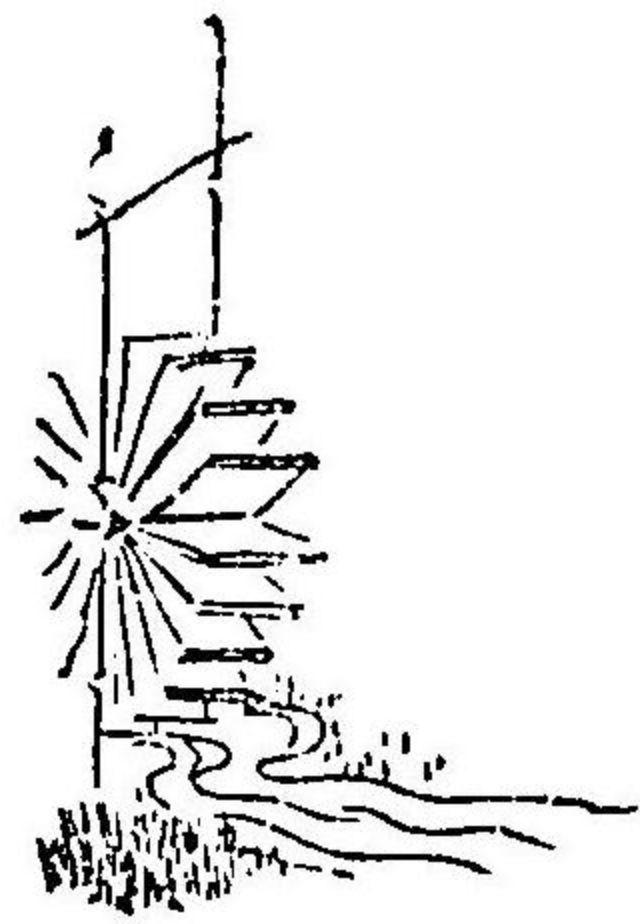
る所である、されどはや一年後の今日、今更の如く之れを繙き閱るに、何分着米間もなき所謂グリーンのものした、ことに勿々の出版尤もその記事は實際で、勿論錯誤などはない、が我ながら不足の點甚だ多いのみか、旅券規則及び船賃等を始め其他改正になつたもの尠からず、依りてこのたび大に増補訂正して版を改めた、さはれ飽くまで卑近凱切を主とし普及を旨とするがゆゑ、矢張り文辭も敢て修飾せず、又た卑俗の些事も故らに省略せず、只管緻密に且つ平易に紹介することをのみ専ら努めた、若し夫れ如何に増訂を加へたかは乞ふ之れを本文に照らされよ、

(附言)この改版については東洋漁船會社、日本郵船會社及びシ-

マン商會より種々の資料を供せられ尙ほ日本郵船會社伊豫丸事務員澤村俊一郎君並に東京移民合資會社員成田豊四郎君より有益の助言を辱うし就中東洋漁船會社主事白石元治郎君には懇篤なる幫助を蒙りたるを以て特に記して感謝の意を表す

明治三十五年五月

編 者 識



(1) 次 目

増渡米の要目次

一 緒論 (我同胞と米國太平洋方面) 一

二 航路と汽船の事 二七

(1) 布哇ホノル、經由桑港線 (東洋汽船會社の航路と其特色) 二七

(2) ヴィクトリア經由シアトル線 (日本郵船會社の航路と其特色) 三七

(3) ヴィクトリア經由タコマポートランド線 五一

(4) ヴィクトリア經由ワンクラーヴー線 五三

三 旅券の事 (旅券の性質、旅券と渡米者、下附手續と其願書式) 五六

四 必要金の事 (船賃、携帶金、其他諸費) 六一

五 携帶品の事 六六

(1) 衣服の類 附服装の心得
 (2) 日用品の類
 (3) 食料品の類

六 乗船手續の事……………七八
 七 檢疫消毒の事……………八二
 八 訊問と應答の事(訊問の要項并答辨の心得)……………八五
 九 乗込の事……………八九
 十 船中并上陸の事……………九二
 (1) 東洋漁船會社の桑港航路(附布哇ホノル、府重要街區略圖及桑港市重要街區略圖)九二
 (2) 日本郵船會社のシアトル航路(附シアトル市重要街區略圖)一一九
 十一 上陸後の事(荷物運搬、市街鐵道、旅宿、理髮入浴其他市中概況)……………一二四

十二 英語と語學の事……………一二八
 十三 職業の事(職業の種類と賃銀、職業を求むる方法)……………一四〇
 十四 貯金と送金の事……………一六九
 附○桑港日米金融社營業案内 ○米國領内郵便爲替規則摘要
 十五 歸朝并再渡航に關する注意……………一七八
 (附錄)
 一 在桑港日本人重要團體所在及營業者案内……………一
 一 在沙都日本人重要團體所在及營業者案内……………九
 一 在晚香坡日本人重要團體所在及營業者案内……………一三
 一 在布哇ホノル、日本人重要團體所在及營業者案内……………一五
 一 北米合衆國貨幣及度量衡摘要……………一九

附圖

- 一 外國旅券規則及旅券下附取扱心得……………二二
- 一 移民保護法及同施行細則……………二九
- 一 北米合衆國制定移民に關する諸條例各規則……………四四

「布哇ホノル」府重要街區略圖……………一一〇

一 桑港市重要街區略圖……………一一九

一 沙都市重要街區略圖……………一二四

以上

訂増 渡米之榮

一 緒論

在米 一 柳松庵

我が日本は面積僅に十四万七千余方哩（臺灣島を除く）の小國であるがその人口は現在四千五百万以上即ち一方哩の面積に三百人強の割合で國民の數から云へば萬國中の第五番目稠密の割合から云へば實に世界第四に位する大國である而かも其數は倍々殖える一方で最近十年間の統計に由るとわが國民は年々四十万乃至五十万人殖えるといふ有様でその繁殖力に富むことに至りては寔に世界無比である

抑も國民が繁殖力に富んで國の人口が倍々殖えるといふ事は或る程度までは儘に一國繁榮の基として太だ慶ぶべきであるがその以上余り法外に殖ゆるは却りて一國疲弊の因となる場合が往々あるので又大に考へなければならぬ近く之を喩ふれば子供の殖えるは一家繁昌の源には相違なきも余りに殖え過ぎれば遂には俗諺にいふ貧乏人の子澤山たる悲境に陥ることがあると同様である元來一家には一定の收入財産がある隨て家族を支ふべき力に自から相當の界限がある故にもしこの界限を超えて殖えた子供達が空しく一家内に居食してゐた日には一家の活計が次第に不如意となりて遂に困難に陥るが如く一國にありても亦た國民を支ふべき力に自から限があるゆゑも

しこの以外に殖えた國民が徒に國內に蟄居してをる時は次第に各自の衣食住に欠乏を感じ果ては生活の途を失ふに至るものが殖えて來るは理の當然で乃ち貧者はますます貧に苦みその結果恐るべき彼の社會党共産党又は無政府党等の興る因ともなり畢竟一國疲弊の源因となるわけで我國の如きは大にこゝに鑑みなければならぬ現に近年我國民は漸く各自の生活に骨が折れて來たその因由は一にして足らぬが人口の増加は實にその一因であるされば子供の倍々殖える家でその子供をば或は養子に或は嫁に遣るとか或は又た職業に就かせるとかして所謂口減の必要があると均しく我國如き國民の倍々殖える國柄では勢ひ國民の海外移住を要する次第である蓋しその國民が

健全有爲のものでありてその海外移住がよく成功したならばその利益や實に内外兩得極めて莫大のものである試みに思へ移民の到る所各自財を得るの傍ら新智識を修めつゝこゝにいと氣樂なる自由の新故郷を成すを得ことにその國旗の赴きたる所は正に是れ國家が膨脹したるもので一國の勢力これがために張り通商貿易これがために進み彼の外資の如きは敢て需めずして自から流れ來るのみかこれと同時に本國に残れる國民もために名々其所に安んじて裕に生活の樂を享くることを得是に於てか一國繁榮の基礎いよゝゝ安全鞏固たるべきは恰かも健全有爲の子供達が或は養子に或は嫁に各々目出度良縁を得てこれに片付き或は又た適當の職業につきこれによりて獨立

自活したならば本人自身の幸福なると共にその兩親は勿論本家に居残れるものは各々その心を安んじて活計豊に樂しく生涯を送ることを得ますゝ一家の繁昌を見るが如しである

海外移住の利益は夫れ此の如くである宜なるかな世の識者が國家を安全鞏固なる基礎の下に膨脹せしむるには海外移住の外良策なしと唱ふる所以で英國の如きは正にこの好適例である見よ彼の英國をわが國よりも尙ほ小さき彼の島國でありながら世界到る處に膨脹し而して國內いと平和に幸福を樂みつゝ斯の如き繁榮を極めたるその主なる原因は夙にその官民が銳意熱心力を協して海外移住の事に當り着々その好果を奏したるがためで實にこそ世界の好模範ことに地勢

國勢共に最も酷似たる我國の如きは、大に之に倣はねばならぬ。凡そ滿つれば缺くるといふは世の習ひであるが、今一の函に物を入れ、る余りに詰り過ぎると、或物は函内で損じてしまふが、或物は品を損ずることなく却りて函を毀して外へ食出る即ち前者は品質の脆弱さ、場合後者はその堅固さ、場合である。蓋しこの理は、管に函に於ける品物のみではない、國に於ける國民も亦た然りである。幸にして健全有爲の我國民は、宛かも堅固き品物の如く、即ちその品を損することなく、外へ食み出る質で言ひ換ふれば、最も健なる膨脹性を有してをる而かも、これは自然の必要によりて成されたる天性で加ふるに、祖先傳來の遠征的氣象をも保存してをる故に、これを一言すれば、わが日本國民は、まことに

よく先天的移住の性格を具備するものと云ふべしである。嗚呼、彼を思ひ此を考ふれば、我國民たるものは、須らく此特性を大に利用し、發揚して奮て海外移住の事に従はねばならぬ。是れ、特り一身一家のためのみでなく、實に國家諸共の利福である。況んや國民の海外移住を最も必要とせる我國の現情なるに於ては、寧ろ是れ國民が國家に盡くすべき、刻下急要の時務なるべしと、確信するいざや奮へわが國民やよ、起てわが同胞。然らば、則ちわが同胞が、今將に奮起りて、勇飛を試みんとすべき新天地は、那邊にあるかと云ふに、現今その最も著名なるものを擧ぐれば、曰く亞米利加曰く、布哇曰く、支那曰く、朝鮮曰く、比律賓曰く、濠州是等は皆な

有數の好舞臺であるが、その世界は廣く地球は大なり殆んど到る所に
青山ありといふも敢て過言でない宜しく勇往邁進他に新天地を開い
て可なりである然れども唯こゝに注意を要するは氣候風土の比較的
良好にして而かも勞力の割合に報酬の多かる地點を選ぶべきことで
是れ實に移住者の最も心を用ひねばならぬ要件である惟ふに彼の北
米合衆國太平洋沿岸の如きは正に恰好の一點點であると信ず依りて
親しく見聞した所に就き聊か卑見を左に陳べん

米國は面積貳百九十三万九千餘方哩（アラスカ布哇、比律賓及ボ
トリコを除く）實に日本の二十倍に當る大國であるがその人口は七
千余万即ち未だ我國の二倍にも達せぬ而かも一方哩に付き僅に二十

一人強の割合たるに過ぎない抑も此國は近世歐州の移民によりて開
かれたる所謂新開國で隨ふてその開化も歐州に接近せる東部太平洋
沿岸より漸次西部太平洋沿岸に及びたるものなるを以てその太平洋
岸に於ける人口に至りては更に一層稀薄であるたとへば同沿岸屈指
の般府たる彼の加州（桑港の所在地）ですらその面積は我國より
も尙は廣いに拘らずその人口は僅々一方哩九人強といふ状態である
されば米國ことにその太平洋沿岸地方に未墾の荒地が極めて多きと
同時に尙は多數の移民就中勞働者を要すべきは必然の理で敢て怪む
に足らぬ次第である況んや近年此國の進歩發達は非常なるものでそ
の貿易の如きも既に英國を凌駕して今や世界の第一位を占むるに至

つた而かも尙ほ期する所は着々その廣大なる未開の富源を拓いて優に産業を以て万國に冠たらんとするにあるがゆゑますます労働者の需要切ならざるを得ず是れ即ち此國勞銀の甚だ高き所以なると共に農事は勿論婢僕の業に至るまで總じて到る所に働口の頗る多き所以である(働口等に就いては後段職業の事に詳述せり)故に此國に在りて体健なるものなりせば決して路頭に迷ふが如きことなく働かさへすれば唯に生活に困難を感ずることなきのみか必ずや相當の貯蓄をなすことを得否な随分労働によりて莫大な富を成すことを得べく現にその實例は尠からずである且つ夫れ此國は開國以來その進歩發達主として労働の力に因るものなるを以て之を重んずること極

めて大でこの國の金言として労働は神聖なりと尊んでゐる富豪の子供も敢て労働を厭はぬといふ國情で随ふて労働者は擯斥されぬのみか政治上にも社會上にも對等である否なその需要ますます切なると共にその勢力はいよゝ大となりて來た彼の同盟罷工の如きも近年太だ熾となり其結果労働時間の短縮と賃銀の増加とは前年の比でない要するに勞力の割合に報酬の多きこと此國の如きは太だ稀であるもし夫れ更に報酬の多き點に就いて云はゞ啻に金錢上の賃銀のみではない蓋し此國は後進の新開國ではあるが流石歐洲人民の移住地だけありて万般の文物制度悉く歐洲文明の流をひきて整然たること正しく新英國の名に背かざるのみか發明に關する新智識の如きさては

電氣工學に關する新學術の如き其他優に先進國たる歐州を凌げるもの尠からずその産業貿易が今日の如き隆盛を極むるに至りしも偶然でないかざるがゆゑにこの國に起臥するものは常に文明の空氣を吸ふてその新事物に接しその新智識を養ふことを得是れ實に更に大なる無形の報酬といふべしである而かも所謂各自財を得るの傍ら新智識を修むべき利益の特に最も大なるもので到底他の非文明國にありては企て及ぶ所でないことに彼の所謂學僕なるものゝ如きに至りては勞働の傍ら一定勉學の余暇を與へられ即ち各自の勞力によりて學資を得ると共に學業に従事し得らるゝもので之によりて學成り功遂げたものわが同胞中にもその數尠からずであるまことに苦學者には

此上なき便法で凡そ斯の如き利便は殆んど世界に比類なしといふも不可でない然り而して此稀有なる國の氣候風土如何といふにもとり廣大極まる國土であるから或る地方は極寒い或る地域は極暑いといふ姿で一樣には云へぬが決して悪い方ではないことにその西部太平洋沿岸地方は概ね良い方でたとへばシアトルの如きはわが千島と同緯度であるから極めて寒いはづであるが幸ひその沿岸に暖流のゐるため意外に暖である又たサクラメントの如きは随分夏季は暑いが彼の東部の紐育などのやうなことは皆無である就中桑港の如きに至りては極寒極暑のことがなく年中一着の袷衣で押通せるといふ氣候で尤も霧が多く空氣は濕り勝であるから呼吸器病者ことに肺病患

者には甚だよくないが労働者には極めて好く適した土地である
 夫れ斯の如く米國太平洋沿岸地方は氣候風土比較的良好なるがうへ
 勞力の割合に報酬多かること他の米國諸州に優るとも劣らない是れ
 即ち所謂恰好の地點と信ずる所以である
 今や太平洋沿岸に於ける我同胞は爾來漸次増加して其數四万人以上
 敢て尠しといふべからざるか如きも翻りて顧みれば僅に我國民の一
 厘余で年々増加する人口の約一割たるに過ぎない而してこの沿岸地
 方は人口特に最も稀薄で未墾の荒地尙ほ極めて多きと共に猶ほ多數
 の移民就中労働者を要すべき次第は前述の如し否な切に之を要しつ
 ゝあるは現在の實況であるさればその余地や綽々として尙ほ多く存

せるものなるを幸ひ尙ほ多數の我同胞は宜しく之に赴いて可なりで
 ある況んや此地方は即ち太平洋に於ける我國の對岸管にその距離太
 だ遠からずして而かも最も近き米國の地たるのみか貿易を始めとし
 其他百般のことにつき我國と極めて密切なる關係を有せる所ことに
 況んや近年國際的貿易の中心は漸く太平洋に向ひつゝある形勢なる
 に於てはいよ／＼以てこの對岸に我國民の勢力を扶植すべきこと極
 めて必要である蓋し多數は勢力の基思へば／＼我同胞がこの所謂恰
 好の地點に向ふて大に進むことは單に各個人の利益たるのみならず
 實に我國家の一大利福寧ろその急務であると深く信ず
 人或は曰はん米國太平洋沿岸地方に於ては今日ですら既に日清人排

斥の聲ますます熾であるを以て今後尙は多數の同胞が入込まんにはいよいよその度を高むべき事必然否な途には排斥を實行せられて全然渡米の途なきに至るのみかその余響延て在米の同胞にも及ぶの厄運に遭遇すべしことなきを保せず故に是は大に不可であるとなるはど今日該地方に於ける日清人排斥の聲はますます熾である番にその聲の高いのみならず我同胞も清國人とや均しく常に冷遇され随分逆待されてをる現況であるがこは毫も意とするに足らぬそもこの排斥なるものは何に基けるかその聲のますます熾なるは何に因れるかといふに畢竟日清人の勞銀が安いために彼の賃銀をますます高んと欲する白人勞働者が一には己の妨害ともなり一には遂に己の職業を

奪はれんことを憂ひ憤るがゆゑで加ふるに國力の優劣國民進歩の差異よりしての輕侮とことに人種の異同よりしての嫌惡とに基けるものである而して此勞働者か此國政治上社會上に極めて大なる勢力を有せること前陳の如くであるものから此勢力に依りて立たんと野心ある政治家は勞働者の歡心を買はんがためにその一方便として故らに此恰好の題目たる日清人排斥を主唱すると云ふ次第で將た又た社會もその勢力に驅られ感情に制せられて自から之を排斥すると云ふ有様である是れ即ち排斥の聲ますます熾なると共に日清人が常に冷遇され或は逆待さるゝ主因であるさればこの排斥の最も熾なる地は日清勞働者の最も多數なる所白人勞働者の最も勢力ある所にし

てことに野心ある政治家の最も多數なる所で就中加州（桑港の所在地）は特にその最も甚しき地であるが同じ太平洋沿岸でもワシントン州（シアトルの所在地）の如きは左程に日本人を排斥しない若し夫れ米國東部諸州の如きに至りては近年我國民は却りてますます尊重され優遇されてをるこれ等を見ても彼の所謂排斥ことに日本人の排斥は僅々此國一局部の事態に止れるもので決して米國全部の輿論でないことが判明する今假りに一步を譲りて日本人排斥が米國全部の輿論となり遂に日米間の國際問題となつたとしたところで日本の國家は清國の如き薄弱のものでないその國勢國力は以前の如きものでない且つ我國開港條約以來通商貿易を始めとし其他諸般の事に

つと彼我兩國は頗る密切なる因縁關係を有せるのみか彼の東洋問題就中清國問題については日英米の三國は特にその利害關係を一にしてをるかるがゆゑに米國が斷然我國とこれらの諸關係を悉く斷ち而かも戦ふの決心覺悟があるにあらざれば到底その輿論を實際有効に遂げ果たすこと能はざる次第である蓋し是れ全然米國の大不利なる事極めて明にして即ちそれが全部の輿論たるべからざる所以なると同時に日本人排斥の遂に行はるべからざる所以である夫れ世界は世界の世界にしてその財は萬國共通のものである而かも需要供給の理によりて人口有餘る地の人間がその不足なる他の地へ入込み或は安い賃銀の勞力や安い金利の資本が各々その高い他の地

へ需めらるべきは經濟上の原則であるがゆゑ我國の人民が米國に入
込むべきことも又た米國が恰かも今日我國で外國の安い資本を需む
るが如くに我國民の勞力を需むべきことも是等は皆な人力を以て制
すべからざる自然の數理である況んや安い賃銀の勞力を多く用ひて
一日も早くその廣大未開の富源を拓くは米國の大利益否な寧ろその
急務であるされは現に彼の排斥の最も熾なる加州(桑港の所在地)
にありてすらその資本家は内實清廉なる我勞働者を需めてをるのみ
か白人勞働者の勢熾なると共にます／＼彼を厭ふて我を需むるこ
といよ／＼切である就中彼の排斥の熾ならざるワシントン州シアト
ルの如きに在りてはその有力なる資本家は公然我勞働者を歡迎して

をる蓋し天下の事物は自然の必要によりて存廢するもので恰かも彼
の布哇が一時は排斥の極度に達し殆んど我勞働者使用禁止までに至
りしが自然の必要は如何ともすべからずして今や更に之を廢せし
みならず却りて熾に之を需要するに至りたるが如く米國に於ても亦
たその自然の必要は遂に排斥を廢止して却りて之を熾に需めざるべ
からざるに至るは必然である加之排斥の一因は國力の優劣國民進
歩の差異よりしての輕侮に存せるなること前述の如くであるが國威
國力が漸次増しわが國民進歩の度が次第に高くなりて而かもその實
を示さば従ふて彼等が輕侮の念自から薄らぎて遂には我を重んずる
に至るべし是亦た必然の人情である現に彼の加州桑港をすらしむ

清事件以來ことに北清事變後我國民を見ること稍やその趣を異にし
來りたるは事實である又た彼のマニラ遠征の米國兵士がその歸途我
國に立寄り親しく實況を観察し就中我軍隊の實況を見寧ろ驚いて立
戻りた後は決して以前の如き輕侮を我同胞に加へざるに至りたが如
き或は近年在桑港の我同胞有志が日本人協議會を組織し慈善會を設
立し墓地を購入するなど着々秩序的進歩の行動によりて大にその面
目を改めたるがため彼國當局者の我に對すること前日の如く輕から
ざるに至りたが如きこれ等は皆なその實例である即ち排斥の一因た
る輕侮なるものは國の威力の増進と國民進歩の行動とによりて漸次
消滅すべきである唯だ排斥の他の一因たる人種の異同よりしての嫌

惡に至りては是れぞ所謂人種競争なるもの、一端で到底消滅すべき
ものでない否なその嫉妬心と共にますます増大となるべきものであ
る蓋し人種の競争なるものは單に米國に於けるのみならず是れ實に
避くべからざる世界の大勢で畢竟優者適存に任すの外はない就中
黄白人種即ち東洋人種と西洋人種との競争は今後是非共激甚を極
むべき自然の趨勢であるがゆゑ東洋人種ことに我が大和民族は一層
勇往邁進大に奮てその競争場裏に向ひその優勝者たらんことを期せ
ざるべからざるは米國太平洋沿岸の如き寧ろ好個の戰場といふべ
きか要するに以上は即ち排斥の毫も意とするに足らざる所以なること
同時に尙は多數の我同胞がいよゝゝ以てこの恰好なる地點寧ろ好個

の戰場たる米國太平洋沿岸地方に向ふて大に進むべしと唱なる所以
である

(備考) 米國太平洋沿岸地方に於ける日本人排斥問題に就いては
前に陳べしが如き愚見なるが幸ひ桑港の日米新聞紙上に「排斥問
題に對するハリス博士の意見」と題して桑港坊なる人の訪問筆記
を掲載せるものを獲たれば左に之を轉載して讀者諸君の參考に供
せん

○排斥問題に對するハリス博士の意見

桑 港 坊

ヤア排斥問題ですか、是れは申す迄もなく言ふべくして行はれぬです、早い話が

統領クリブランド時代に随分日本人排斥が入益しかつたものですクリブランドも丸切
り捨て、は置きぬから早速調べさせた處が其得たものは何であるか云ふに太平洋沿
岸に三千人許の日本人が在住して居る云ふ事を突き留めた、ソコで流石のクリブラ
ンドも當時五千有餘萬を有する米國々民が二千やソコイラの日本人が来たからと躍
起に騒ぐ程米國人は意氣地がないか云ふて一笑に附して顧みなかつたのです、然ら
ば今日は何程の日本人が此米國太平洋沿岸に居るかと申すに大略二萬五千から三萬位
であらうと思ひます今日八千萬からある米國々民が僅かに三萬位の日本人が来たさて
騒いだならば、騒がれる日本人は寧ろ名譽であらふが騒ぐ者の氣が知れぬではありま
せんか………一体虚心平氣に考て見れば日本人排斥などは未だ一ケの問題さばならぬ
コンナ馬鹿々々しい事全体注意すべき値打はないです、コンナ事に日本人が應戰して
騒ぐでは却て日本人の估券を落しほしまいかと私は夫れを思ふのです多くの具眼者は
皆な此れ位の事は知つて居る心の裡では嘲笑して居るです、夫れから十年程前と今日
とは全く形勢が一變して居ます、十年程前には所謂舉國一致で排斥を唱導したもので
す、少なくとも歡迎する云ふ者は殆んど一人もないと云ふて能い位であつた然るに今
日は如何である桑港のニース、レター如きは少しも畏憚なく日本人排斥の没理義にし

て米國の爲めに甚だ不得策なる事を絶叫して居るではありませんか、米國のために幸乎不幸乎は別問題として米國では未だ資本家にエゲンストして何事でも出来る程發達して居ない然らば資本家は此問題に對して如何なる見解を有して居るか云ふに之れは申す迄もない安い賃銀で多く働いて夫れを好まぬ資本家が何處にあるものですが廣漠たる此の加州の野を開拓して生産を増加するのは東洋の勞働者でなくて誰れであります、布哇貿易會社長のメオリー氏などの話に依ると少なくとも今一萬人位の日本人が布哇に入り込まれば布哇の進歩發達は得て望むべからず云ふ様な意見である米國の大陸でも多くの資本家は皆同意見であります又米國が比律賓を併せたる其眞意は何である即ち東洋貿易を擴張したいからではありませんか假令は汝は我國に入る事は出来ぬが我れは汝の國に入つて利得を獲たいとソナ勝手な事が言へる者でなからう、又出来る筈でなからう此等のポイントから考ふるに云ふと來年五月に終了するゲーリー・アクト即ち清人排斥案と云ふものが到底再施行せらるべきはつかない若し萬々一己を得なかつて再び施行する様な事があつたならば夫れは現行の法律よりズツト寛大のものでなければトテモ(國會を)通過する憂はない私の排斥問題に對する意見は斯の如くであります (完)

二 航路と汽船の事

さて現今我國より米國太平洋沿岸に到る航路は南方にありては布哇、ホノル、經由桑港線北方にありてはウイクトリア經由シアトル線、ウイクトリア經由タコマ、ポートランド線及びウイクトリア經由ヴァンクーヴァー線がその主要なるものでその三等船賃は孰れも皆な均一であるされど南北の懸隔極めて甚しくことに各線その特色を異にせるがゆゑ米者は各々赴かんとする地點に就きよくその航路を選ばねばならぬ依りて左に各線の航路と汽船の事を記さう

(1) 布哇、ホノル、經由桑港線

(東洋汽船會社の航路と其特色)

目下この航路の定期船は東洋汽船會社の日本丸、亞米利加丸、香港丸と外國汽船會社のチャイナ號、ドーリック號、ペルー號、カブテイック號、ベッキン號、ゲーリック號等であるが悉く皆な聯合して一代理店で荷客を扱つて船賃も亦同一である（後數の船客賃金表を見よ）

されど就中東洋汽船會社のこの三艘は我國の船舶で船長事務長は外國人ではあるけれども日本人が多く乗込んでのみか乗客に接する事務員は殆ど日本人でことに中下等の方に至りてはそのスチニワード（賄方を始めコック、ボーイを指揮して其受）を始めボーイ、コックに至るまで悉く日本人である之れ等の事情よりして吾々日本人に取りては何角一段の便利である聞く所に依れば食事も良好取扱も丁寧である

し第一船が（各六千余噸）大きくて立派で迅速といふので近來外人間にも評判ますよく殊更にこの船を選ぶ乗客がいよゝゝふる趣である

この東洋汽船會社と云ふは日本人の組織せる株式會社で本社は東京にあり出張所并に代理店（乗船切符發賣を始め總ての荷客）は横濱にも神戸にも長崎にも又桑港及び香港にもある而して其の本線航路は桑港と香港とを起點として（貨物并乗客）其間ホノル、（布哇）及び横濱神戸長崎并上海に寄港するので、例へば桑港よりホノル、横濱神戸長崎上海香港と順航すれば更に復た香港より上海長崎神戸横濱ホノル、桑港と逆航するもので我港より桑港へは平均二十六七日以内毎に

出航する割合で正に定期であるがゆゑ確とした出帆日時は會社代理店又は汽船問屋に就きて聞けば直ぐ判明する今その航路によれば横濱・ホノル、間（約三千四百海哩）凡そ十晝夜・ホノル、桑港間（約二千百海哩）凡そ六晝夜此外殆んど一晝夜・ホノル、に碇泊するにより横濱・桑港間（約五千五百海哩直航す）凡そ十七晝夜を要すべき次第である尙ほ此會社は米國大陸の諸鐵道及び太平洋沿岸諸汽船と連絡を通せるがゆゑシアトル・タコマ・ヴァンクーヴァー并に米國東部諸州行（大陸經由歐州行通切符をも發賣す）の乗容をも取扱ふことは左に掲ぐる同社の船客賃金表に示すが如しであるされば日數が長くかゝりても險阻を避けて道中安樂に米國東部諸州へ行かんとする人はこの線

によるを可とす（蓋しシアトル線は日數短きも陸上の通路險惡なればなり）然れどもシアトル・タコマ若しくはヴァンクーヴァーの北部沿岸地方へ赴かんとする人ことにその三等船客はたとへ通切符を得て而かも賃金は同一でありてもこの線によることは可でない何となれば桑港に於て更に船を乗換へねばならぬ（中等以上の乗客へは連絡鐵道の瀾車通切符を、下等客へは連絡瀾船の通切符を例とす）勿論通切符であるからこの船賃は要らぬが乗換の連絡船を待つために場合によると桑港に一兩日滞在せねばならぬ而かもその滞在費用は自辨であるが上船中并昇降の費用と時間とを尙ほ要する次第であるもし他の北部各線によるときは同一の船賃の外には重ねて費用を要することなきのみか本線の桑港着よりも尙ほ早く

全長	四百四十一呎	幅	五十呎六吋
深	三十二呎六吋	實馬力	七千五百
總噸數	六千餘噸	速度	十七海里餘
搭載船客	上等	百名	下等 七八百名

船内上等客室は船橋甲板及び上甲板に在りて善美を盡し空氣の流通光線の透射最も宜し食堂は上甲板に設けあり其裝飾頗る美麗を極め其他談話室、圖書室、喫煙室、婦人室等旅客の快樂を資する諸般の設備は悉く具はれり又た食品を入れる可き貯藏室ありて冷却機及び製氷機を備へ長途の航海中と雖とも常に新鮮の食物を旅客に供することを得且つ堅封水密を施したる室をも設けて郵便物、絹布、金銀其他貴重品を入れる所となせり斯くも設備周到船

客の便利を圖るに勉められたれば近時歐米の旅客者間一般の用語たる(海上に泛べる宮殿)とは正しく本社汽船の類を意味せるなる可し

(2) ヴィクトリア經由シアトル線

(日本郵船會社の航路と其特色)

日本郵船會社の信濃丸(六、三八八噸)伊豫丸(六、三一九噸)加賀丸(六、三〇一噸)土佐丸(五、八〇五噸)旅順丸(四、八〇六噸)金州丸(三、八五四噸)は現時本線の主要なる定期船である且つ同社の船舶は事務長以下乗客に接する事務員は悉く日本人でことにその三等室は極めてよく整備してあるがゆゑ本線による日本人

日本郵船會社は人も知る如く我國最大最古の汽船株式會社で本社は東京にあり支店は横濱神戸下の關上海及び香港にある代理店はシアトルを始めとし桑港其他米國各市にある而してその本線航路はシアトルと香港とを起點として(貨物并乘客)其間ウィクトリア(英領加奈陀)及び横濱神戸門司并上海に寄港するので例へばシアトルよりウィクトリア横濱神戸上海香港と順航すれば更に復た香港より上海門司神戸横濱ウィクトリア、シアトルと逆航するので我港よりシアトルへは毎二週一回定期に出帆するのであるがゆゑ確とした出帆日時は會社支店代理店又は汽船問屋に就きて聞けば直ぐ判る今その航路によれば横濱ウィクトリア間(四千九十八海哩)凡そ十二晝夜

ウィクトリアシアトル間(七十海哩)凡そ六時間でもし船が午前に入港するときはウィクトリアに一夜碇泊して翌朝早くシアトルに着くのである故に横濱シアトル間(四千二百六十八海哩)はまづ十二晝夜餘を要するものと知るべし尙ほこの會社は米國大北鐵道を始め其他大陸の諸鐵道及び太平洋沿岸諸汽船と連絡を通せるがゆゑこの航路によりてタコマポートランド及びヴァンクーヴァーの北部沿岸は勿論南部沿岸の桑港并に米國東部諸州行(大陸經由歐州行通切符をも發行す)の乘客をも取扱ふことは左に掲ぐる同社の船客運賃表并にその注意書に示すが如しであるさればタコマポートランド若しく

はヴァンクーヴァーの如き本線の到着點と接近せる地へ赴かんとする人もこの線によるを可とすことに米國東部諸州へ急行の人は通路が險惡であるが最近の路程であるゆゑこの線によるを便利とす又たシアトルより桑港へは涼船で遅くも三晝夜半、汽車なればもつと早い、
 (イ) 接續船は永くもシアトル着二日後に發し却りて布哇經由桑港線より早く桑港に着くが上船賃も同一である且つ接續船が定期より遅れたところで格別の差がないゆゑに桑港行の人も亦た都合でこの線によるを不可でない然れどもこゝに注意すべきはこの線によりて桑港に赴かんとする人こととその三等船客はシアトルに於て更に船を乗換へねばならぬ、
(中等以上の乗客へは連絡鐵道の汽車通切) 符下等客へは連絡汽船の通切符を例とす 勿論通

し切符であるからこの船賃は要らぬが乗換の連絡船を待つために場合によるとシアトルに一兩日滞在せねばならぬ而かもその滞在費用は自辨であるが上船中并に昇降の費用を尙ほ要する次第である加ふるにその滞在宿泊中旅店などにて悪手段にかゝること往々あるを以て就中初旅の三等船客はこの線によらざるが寧ろ安全である要するに本線はもとよりシアトルヴァイクトリアを以て主とするものなれば此兩地は勿論北部沿岸地方へ行かんとするものはこの線によりて日本郵船會社の涼船に乗るが至極便利である今同社の注意書及び船客運賃表并船客運賃に關する規定を左に掲げて旅客の參考に供せん

○注意書

一 本航船は命令航路指定船及航海獎勵法合格船にして帝國郵便物を搭載し毎二週一回定期表の通り各港を發着す

一 本航船は「シアトル」に於て大北鐵道會社線に連絡す尙は會社は大陸行(紐育シ)は勿論大陸經由歐州各地倫敦リヴァプールアントワープ等及大平洋沿岸(桑港、ボートランド、)へも通し切符を發行す

一 各船々室は一等、特別三等、及三等の三種とし其設備總べて最新式に憑る就中信濃丸加賀丸及伊豫丸の三艘は最近の建造に係り船体頗る雄大にして構造亦堅牢なれば船体の動搖甚た少く且つ其一等室の構造及び設備は空氣の流通に注意し暖室

器、洗面器、抽出附机を備ふる等船客の快樂及び安全に資する施設殆んど遺す所なし

一 特別三等客室は從來の二等室を用ひ他線船舶の二等室と大同小異のものなり

一 三等客室は空氣の流通善く廣潤なる場所を撰定し重に日本人客に適當する様注意を加へたれば日本人客に對しては特に便利多し

一 食事は一等及特別三等船客には新鮮佳良なる洋食を供し日本人一等船客に對しては望に依りては時々和食を供す又三等船客に對しては特に日本人賄方を附し衛生滋養を旨としたる

日本食を供す

船中日本人醫員を乗組せしめ船客疾病負傷等の場合には懇切に診察を爲し適當の治療を加ふべし又婦人司厨を置き婦人船客の御世話を爲す

船長以下各員は熱心に船客の娛樂と愉快の爲めに盡力し就中日本人船客に對しては日本人事務長及船醫に於て特に注意を爲し懇切の接待を爲すべし

特別三等并に普通の三等船客は米國法律の規定に由り消毒を経ざれば着米の上、上陸を拒絶せらるゝを以て本店は特に一定の場所を擇び各船出帆の前日午前八時より消毒を執行する

に付同時刻迄に手荷物御携帶の上御來店あらば懇切に取扱を爲すべし

但し消毒料は運賃の外御一人に付金壹圓を要す

尙前記消毒料の外特別三等客并に普通の三等客は米國移民検査規則に依り米國金貨三拾弗以上(日本貨幣なれば)を携帶すべきものなれば安全の爲め之れを上陸保證金として當方に預り御上陸の節御乗船相成りたる汽船事務長より預證と御引換に御返金を爲すべし

一 船室御一覽御希望の方は本航船横濱碇泊中は隨時御案内を爲すべし

ては歐洲等へは「ユニオンパシフィック」鐵道線にて各々「ポートランド」に於て御便利に且容易に連絡せられ候は申すまでもなく總て何地への接續切符なりとも神戸横濱等にて發賣仕候間御便利も亦一層の儀にて候且つ各汽船ともに醫師を乗込ましめ不時の御場合には親切に診察致すべく其上數名の日本人ボーイ及料理人を置き懇切丁寧に御取扱申すは勿論日本語にて御用辨を達し得られ候のみならず注意に注意を加へ衛生滋養を專一とせる日本料理を差上申すべく候加ふるに各汽船とも「ロイド」船籍の最高級に位し船体堅牢なるは申すまでもなき事故御乗客の御保護は充分になり得らるべく船内は清潔にして諸事整頓せるか爲め御航海中聊か

の御不便御不快の儀は毛頭も無之候間江湖の諸彦實事と漫遊とを問はず歐洲と米國とを問はず苟くも彼の地に御發航の際は弊社の汽船に御乗船あらんことを乞ふ

さればタコマ、ポートランドへ赴かんとするものは勿論其他の渡米者にして路を本線に取るも可である就中オレゴン、レールロード並ユニオン、パシフィックの兩鐵道會社に就きてその鐵道働に従事せんと欲するものは特に右ポートランド、アジアチック汽船會社の汽船に乗る方利便多いさうである且つ同社の汽船は専ら三等客のみを扱ふがため隨つて本線の三等船客には恰好の便船であるさうだ

- (4) ユニオンパシフィック經由ヴァンクーヴァー線

加奈陀太平洋鐵道瀛船會社のエンプレス、オブ、シヤパン號エンプレス、オブ、チャイナ號及びエンプレス、オブ、インディア號の三艘は本線有名の定期船にして横濱ヴァンクーヴァー間(四千三百海哩)十一二晝夜で達するが惜むらくは三等船客を乗せないこれがため同社では別にターター、アゼニアンの二艘を以て之を補ふてをるゆるるは、アングーヴァー其他の英領、加奈陀地方へ赴かんとする三等船客はこの二船に乗りて可なりであるがヴァンクーヴァーへ行かんとする我同胞の三等船客は却りて前項の日本郵船會社瀛船に乗る方便なるべし(因記す加奈陀太平洋鐵道瀛船會社の重なる日本代理店は横濱海岸通十四番と神戸元居留地十四番とにあり是即ち此社の瀛船を

俗に十四番船と稱する所以である)

(参考)最近の時事新報紙上に左の記事ありたるを以てそのまゝ、轉載して讀者諸君の参考に供す

○太平洋の新航路

(米國と西比利亞鐵道の聯絡)

ホストンのキツギービーボデー會社は來る七月十五日よりシヨーマット、クレメント及びライラの三瀛船を以てタコマ、シヤトルより横濱、神戸、長崎、上海、香港を経てマニラに達する航路及びヘイデス、プレアアイアスの二瀛船を以てタコマ、シヤトルより浦鹽斯德に直航し更に仁川、旅順口、天津、膠州、上海、神戸、横濱を経てタコマに回歸する航路を開始する計畫にて、今度新に北太平洋鐵道會社と聯洛輸送の契約を締結し尙ほシヤトルのアリント、ドックを買入れ殊に右瀛船中シヨーマット、クレメントの二艘は新造の瀛船にして孰れも一萬八千五百噸、十五ノットの速力を有しシヨーマットは去月二十八日フキラアルフ井ヤを發しシヤトルに向け廻航の途に上りクレモ

ントはバルチモールニ於て工事中なる由兩船も専ら貨物を吸收せんとするにあれども追て乗客をも搭載する筈にて船數を増加する計畫なりさ右浦港線は我青森海峽を通過するものにして西比利亞鐵道の貫通を見込みて開始したるものなれば米亞兩大陸を聯絡する唯一の汽船會社なり

三 旅券の事

旅券とは俗に免狀といふものであるがその實決して渡航免許の證ではなくて専ら海外旅行者の便利のため下附さるゝものであるゆゑその下附を乞ふと否とは渡航者本人の勝手都合で随ふてこれがなければ海外へ渡航が出来ぬといふわけのものでない然れとも例外として渡米者にはこれがまづ第一に欠くべからざるものである尤も上等船客にありては殆んど之れを唯だ所持せるといふばかりで左のみの要

用がないさうだが中下等船客にありては最初乗船の手續より上陸するに至るまで万事一切旅券によりて扱はれ到底之れなくては叶はぬもし上陸の際之れなきものは密航者と認められて直に送還さるゝといふ次第であるがゆゑこれは眞に貴重なるものである蓋し北米合衆國政府では外國人移住條例なるものを制定し就中亞細亞人の移住を格別嚴重に取締り殊に契約労働者の移住をかたく禁制してをる而して中下等船客は一切移民と認められて嚴重なる移民條例の下に取扱はれるがため往々上陸を拒絶されて空しく立戻るものがある且つ醜業者移住の嚴禁は已むを得ないが之れがため婦人の上陸は一般に面倒でその餘響が延て正業の婦人随分夫同伴のものにまで推及んでをる

これ等の事情のため我國政府に於ても渡航者の素性目的などを吟味した上でなければ容易に旅券を下附しない取分け婦人へ旅券を下附することは特に詮議の上ださうだ要するに渡米せんと欲するものは旅券ほど大切なるものはなく而してその下附は余り易からぬこと、心得て何より眞先に旅券下附の手續をするが最も必要であるさてその手續は左記の書式により願書一通(用紙は美濃)を認めて區長(又は村長の奥書を取り之れに戸籍謄本(これは各その管轄戸籍役場に就きて十錢の手續料を納めさへすれば何時にても得らる)を添へて各自所在の地方廳(たゞは東京府のものは東京府、神奈川縣のものは神奈川縣廳)へ差出し置けば下附せらるべきものはその地方廳よりその旨を達し來るゆるその節五十錢の收入印紙を持參すれば之れと引換に旅券を請取

れるのである

(旅券下附願書式)
海外旅券下附願

一 姓名

一 生年月日

一本籍地(本籍地と所在地異なるとき)
地(は所在地をも併せ記すべし)

一身分(戸主家族の別)家族なるときは戸主の氏名及び戸主との權柄を記すべし)

一族稱

一職業

一 渡 航 地
一 年 限
一 目 的

(この行先はなるべく廣き方便を以て故にたさへば北米の一地方にても北米合衆國を認置くべし)

右者今般渡航致度に付海外旅券御下附相成度戸籍謄本相添

此段相願候也

年 月 日

右 何

誰 印

地方長官宛

(區長又は村長の奥書をなすためこゝに餘白を存し置くべし)

右願書は普通渡航者本人の二判でよいのである (但移民保護法の規定に基き移民取扱人に依る移民又は保證人を要する移民なること)

はその移民取扱人又は保證人の連印を要す)されども未丁年者又は婦人にありては證人を要するのみか第一渡航先に確たる引受人(正業者に限る)のある證明を要する次第であるがゆるまづ出願に先ち渡航先に於ける引受人たるべきものよりその地帝國領事(領事館なき地は公使)の營業證明書若しくは身分證明書の類(普通の居住證明書にては効力薄し)を獲てこれを願書に添ふること最も肝要である(この證明書を獲る手續等は後段の歸朝并再渡航に關する項に詳述せり)總じて旅券下附出願の手續に就ては各地方により多少異なるを以て仔細の事項は夫々其筋に聞合はす可とす尙ほ参考のため卷末に附録として必要なる外國旅券規則、旅券下附取扱

心得及び移民保護法并に北米合衆國制定の移民に關する諸條例各規則を掲げたれば宜しくこれらを参照すべし

四 必要金の事

現時渡米せんとする二等船客（二等船客も同じ）は旅費其他の雜費以外に尙ほ特に携帶金（俗に見世金ともいふ）なるものを用意しなければならぬ蓋し北米合衆國政府では移民規則によりて少なくとも三十弗以上の金を携帶せるものでなくては上陸を許さぬことになりてあるゆゑ此金額の用意は是非共必要である尤も此金は上陸の際移民局吏に唯た見せるのみで、やはり自己の所持金であるから寧ろ上陸後の諸費用に充てるものと豫算すればよい今便宜のため二等船客に

必要なる金額とその項目とを左に掲げやう

一金六十五圓也

横濱神戸其他我國諸港よりシスコシアトル、タコマ、ポートランド

下等船賃

（は別項の賃金表を見よ）

一金一圓也

本年一月改定乗船前の検査消毒費但し神戸にては金二圓也を要す

内譯 金一圓也

身体検査 金八十五錢 荷物消毒費 金十五錢 搬物運

一金五圓也

汽船旅宿二泊料其他雜費

（此二項は概算殊に各人によりて差異あること勿論とす）

一金三圓也

船中小遣費

一金六十五圓也

携帶金

（三十弗以上さいふに對する見積換算高并に兩換算共）

合計金百三十九圓也

（注意）

一、桑港行の男子は米金三十弗以上を強ち現金でなくとも正金銀

行其他確實有名なる銀行の爲替手形にして自身で携帶すればよいのであるが婦人はその携帶金の代りに乗船前現金四十五弗を汽船會社に預托て置かねばならぬ事になりてをるこの金は滞りなく上陸出來さへすれば勿論直に返金してくれるのであるがもし万一にも上陸を拒絶せられた場合には其復外賃其他右に關する一切の諸入費をこの金にて差引かれるので其ため前以て會社に之を預托て置かねばならぬといふわけである

一、布哇行のものは(船賃五十九圓)携帶金の額が多い(男女共四十五弗)のみか男女を問はず總べて乗船前に之を汽船會社に預托ねばならぬ但しその金(米金四十五弗)は之れを日本金

(凡そ九十一圓)に換算して預けるのでその預かる理由并請取方は前項の婦人の場合と同一である

一、シアトル、ポートルランド、タコマ行(日本郵船會社汽船にて)のものも亦た男女諸共その携帶金(共に米金三十弗以上日本金なれば六十圓以上)を乗船前に會社に預托することは前段に掲げた同社の注意書にも示しあるが如くである

一、ヴァンクーヴァー、ヴィクトリア其他の英領加奈陀地方のものは一切携帶金を要しない但しこれ等の地を経て米國に赴く人は矢張り米國の規則によりて携帶金(米金三十弗以上)を用意せねばならぬこと勿論である

右の外衣類其他の支度費用凡そ三四十圓以上ことに各人により又た各地方によりて尙ほ要すべし費額に差異あるべきこと云ふ迄もないが兎に角百七八十圓前後の金子があれば横濱若しくは神戸等より桑港シアトル タコマ ポートランドまたはヴィクトリア ヴァンクーヴァーその他米國太平洋沿岸の地まで差支なく行かれるのである況して上陸後三十弗あれば一ヶ月余は相當に座食して居られるのみか遣り方によりては尙ほ残る程で思へば存外要らぬのである

五 携帯品の事

金子に續きて用意すべきは衣服其他の携帯品のことである素より格

段にその用意をする必要はないが兎角事情の分からぬがため用意すべきものをせずして却りて不要無益のものを用意し來て後に悔ゆること甚だ多いゆゑ参考のため順次其要を摘んで記さう

一 衣服の類

服装は特に最も注意を要す蓋し彼地は流石文明の先進國だけありて中々その規律が八釜敷たとへば帽子を被らず或は素足又はズボンのボタンを解して往來を歩かざりてもし巡査に見咎めらるゝと罰金をとられるさればいかなる貧民でも労働者でも服装には大に心を用ふるといふ習慣である周圍がかやうであるし第一服装によりて甚だしく輕重されるゆゑに是非共通の洋服を着

けねばならぬとはいへ敢てその美を装ふには及ばない唯々清潔なる普通のものを規則正しく着用すればよいのである今左にその必要品を示さう

洋服は裕の背廣一揃(黒又は紺の無地の方よろし上衣の) 并に襟飾其他の附屬品一通と適宜の下着類(下着類は着換の多きと成るべくネル類の冬物を取交せるべし就中靴下の類は数多き) にて事足りる此外軽きオバー、コートあれば一層の便利でホワイト、シャーツ、カラ、カフスを用意するに越すことはない尤もシアトル始め北部の方は可なり寒いことにこの方面の航路は前段にも述べた如く途中夏でも非常に寒いが桑港の季候は極寒極暑のことなく年中一着の袷衣で押通せるのである但

しこの方面の航路はシアトルと正反對で日本海を離れて布哇に近づくに随ひ温度を増し桑港到着三四日前迄は冬でも暑い殊に夏季は最も酷暑である且つ同じ米國內でも夏季甚だ暑いところもあるし冬季甚だ寒いところもあるゆえ赴かんとする目的地によりては單の脊廣(セル類のやはり無地もの) または厚いオバーコートを用意してゆくのもよからうけれどもこれ等は是非その必要があるといふわけではない

帽子は黒の山高なれば申分なけれど(米國にては労働者で) 中折(若き人は) 鼠に白又は黒の鉢巻したものがよい黒なれば普通であるが茶色(これもよい) 又鳥打帽(これは船中にも) どれも間に合はないことはない夏季なれば鰐

の廣大ひろくおほきからぬ麥藁帽むぎわらぼうしでもよい(但しパナマは若い人の用品でないさうだ) 此他の種類このた しなるるの

ものはあまり好ましくない

靴は黒皮くろかわの編揚あみあげにまざるものはない但し何靴なにぐつでも先の鋭尖とがらぬ方よし

之れを要えうするに以上いじやうの品々しなづを若し渡米とていのために新調しんてうせんとする人は質しなの優劣よあしよりも型かたの佳否よしあしよりも仕立したての巧拙とちうしよりも第一だいいに心すべきは色合いろあひを撰えらぶべきことである、たとへいかに仕立したてが巧じやうで型かたが佳よく質しなが優まさりて、もその色合いろあひ又は縞柄しまがらが好よくなければ日本にに在りてさへ見るものが見たら實じつに可笑おかしい況んや本家本元ほんけほんもとの西洋せいやうに於て況んや人の嗜好しゆいは種々様々しゆくさまさまあるが上に時の流行はやりは千

變方化べんぱんわであるがゆる随分日本にほんに於てこの邊へんに注意ちゆういして拵しらへて來たものですから見つともなく中なかには着きて出でかぬのみか往來わうらいを着て歩あるけぬことが其例そのれいに乏とましからずだ(身なりがおかしいといつたつら) 依りてあまりに目立めだたざる總そうじて無地むぢで普通ふつうの所謂いはずじみなものを撰えらぶが專一せんいつで新形しんがたとか好みこのみの縞柄しまがらとか所謂いはず派手はでな目立めだつものは一切さいしつ見合みあはずべしだこの點てんはしたしく實驗じつけんして大おほに感かんじた所で特に注意ちゆういを要えうすることである

和服わふくは寢衣兼用ねまきけんたいの浴衣ゆかた (洗濯等の便宜上) 二三枚まいと卷帶まきおび一筋すぢもわ

れば十分じふぶんである尤もつともシアトル始はじめ北部行ほくほくものは勿論もちろん其他そなたのものも綿入わたいれを用意よういするに越こすことはない (以上悉皆男子用のものな

り
 婦人用のものは畢竟前記の男物に準じて之れを應用すればよからうと想ふ聞く所に依れば婦人用の衣服類はことに六ヶ敷いゆゑなるべくは米國着後に新調する方がよいさうである勿論男物でも然するに越すことはない随分出来合又は古手(みな体に合ふ様に直して)れ)でよいものがある殊に靴類は如何なる寸法でも數多出来てありて恰かも日本の足袋のやうで概ね足に合ふのである之れ等は流石便利に備はつてゐる事の序に米國に於ける重なる品類の相場を左に示さう

一 脊廣

一 揃

出注
 来文

十五弗以上
 八弗以上

一 上衣短衣共	一 着	出来	三弗五十仙以上
一 袴	一枚	同	一弗五十仙以上
一 靴黒皮編揚	一 足	同	同
一 山高帽子	一個	同	同
一 中折帽子	一個	同	一弗以上
一 シヤワイツ	一枚	同	五十仙以上
一 カラ	一個	同	五仙以上
一 カフス	一個	同	十仙以上
一 襟飾	一個	同	十五仙以上
一 肌着	一枚	出来	三十五仙以上

Handwritten notes and scribbles at the bottom of the page, including some illegible characters and lines.

一ツホン下 一枚 出来 三十五仙以上
 一靴 一足 同 十仙以上
 日用品の類

毛布 成るへく白 或は懸布團 袖あるものは 二枚并に枕の類 枕の類
 如きた、みやす は下等船室には一もなきを以て船中特に最も必要
 なる品で洗面盥 製のものにてよし 土瓶水入 (フリキ製のもの) 水香の
 類及上草履なども船中の要品である人によりては茶碗箸を留意
 するも可なるべく此他楊枝齒磨手拭ハンカチーフ石鹼紙類等の
 日用必需品は申すに及ばず筆墨ペン、インキ洋式書簡用紙 拾銭
 便切手、萬國聯合端書所持す 糸、針、鉄、小刀、剃刀の類殊に西洋剃刀
 るも大に便利なることあり

西洋にては髻をばやしてをるは他人に對して失敬として大にきらふゆゑ平常奇麗
 にしてをらねばならぬところ、髻剃料が安くはないよりて髻多き人ば尙ほ更らこの
 剃刀の用意必要且つ經濟である日本剃刀持参のものは必ず砥石を携ふべし西洋
 剃刀は日本で買へば砥皮共普通品参前夜で米國より却りて安いやうである
 は砥方も輕便で意外の要具である尙ほ長旅の事であるゆゑ書冊
 其他娛樂道具を持参するも齣散には至極よからう(此他適宜の藥
 品を持参すること必要である)

一 食料品の類
 前項述べた如く航路が長いたるため随分徒然を感じる場合が多いの
 みならず兎に角下等船客の食事は素より御馳走といふわけには
 ゆかぬ而して船中で飲料品を賣りてはくれるが正宗、ビール(大
 瓶)一本五十錢玉ラムネ一本十錢と云ふ高價でこの他の特別食

料品は下等船客には一切得る途が殆んどない故に豫め牛肉や佃煮類の罐詰物又は漬物類其他菓子果物等を用意してゆけば之れに優することはない將た好茶家は宜敷茶を持参すべく飲酒家は出來得る限り酒類を携帯するのが寧ろ經濟だしかはあれとも凡て之れ等食料品の用意は言はゞ贅澤に屬し無くても濟むもの之れこそ各人の隨意たるべしである

まづ携帯品につき心懸くべき要項は大略右の如くであるが之等を收るべき入物はトランクなれば極の頂上だが第一堅固で濕氣を防ぐに足る而かも錠の確としたものなればズック張の行李でも其他のカバン類何でもよいが要するに入物は數少なくて大きく一纏にする

方がよい尙ほ携帯品につき注意を要する事は米國上陸の際その税關で荷物一切を嚴密に検査して有税品又は不都合の品と認定されたものは斟酌なく税を課り立てられ又は没收され其際決して異議を云へないことになりてあるから税を課られる覺悟の人はいざ知らず然らざるものは宜しくこゝに注意して成るべく斯かる恐れある品例へば商品らしきもの或は一種類にて余り數多き品(殊に絹物類)又は風俗壞亂其他危險物の類を持ち來らざる様豫め心懸くるを要すまづ何人が見ても眞に自分の身廻り必需品と認めらるゝものゝみなれば極めて安心平氣である序に注意を重ねて置くことは携帯の書簡類は開封の儘を可とし紹介狀は何通幾枚齎しても差支はなけれど

も總じて契約労働に關するか若しくは之れに類似の事項を記したるものは大禁物と心得べし蓋し萬一之れを發見せられそのため上陸拒絶に會ふの虞なきにしも限らざるゆゑである

六 乗船手續の事

そこで乗船手續であるが一寸考へると均しく汽船の旅行であるから外國通も内國通も唯だ遠近の差のみで格段の差異がなかりさうに思ふが事實なか／＼さうでない殊に前項に述べた如き事情であるから北米合衆國の領内に渡航せんとする中下等船客の乗船手續は一層面倒であるその詳細は順を逐ふて記すが畢竟出帆地の便宜の汽船問屋に頼る方が一番よい否不然せざれば万事不便利であるのみか

底その手續を完うすることができぬといふても過言でない随分再三渡米に慣れた人すら(中下等船客は)然りであるゆゑ況して初航のものは尙ほ更のことである

先づ出帆の數日前適宜の汽船問屋に旅券を渡して(書留にて送り)乗船手續を依頼するのである汽船問屋は之れを受けて直に其地の汽船會社またはその支店代理店に旅券を交付して乗船切符を申込むのであるが直ぐは發賣ないのみかよく本船が入港た上でなければ果して乗れるか否か判然せぬ蓋し毎船香港より支那人の乗客が極めて多いため中下等船室ははや同地に於て満員のことが往々あるからである

此の如き事情であるから幾人の船客を乗せ得らるゝか、確と分かるのは概ね出帆の二三日前位、即ち本船入港の前後で而かも汽船會社では豫て申込の順序によりて預りの旅券へ附記したその番號に基きて定員迄の乗客に應ずるといふ次第では是に於て初めて乗船成否が分ることであるが切符はまだ賣らぬ乃ち出帆の前日に乗客の身体検査と荷物の消毒なほ之れに引續き會社に於て規定の訊問(之れ等は悉く後段に詳述)をなし滞りなく之れ等を了りたる上ならでは切符を賣らぬ一言すれば以上の手續後にあらざれば乗船成否が眞には確とせぬのである右の手續に殆んど一日を要し而かも切符はその夕刻即ち出帆前日の夕方にやつと旅券諸共手に入るといふ始末である

しかるがゆゑに出帆日の前々晩位より汽船問屋に來着してまづ乗船の確定と共に荷物を之れに託し尙ほ翌日の検査消毒訊問其他乗船に關する一切の模様を聞き取りて心得置き且つ豫め船賃検査消毒費などを渡し置きて万事の案内措置一切宜しく之れに頼むに如くはなしであるさすれば問屋は万端引受け遂一に案内して諸事不都合なきやう、やつてくれる加之船室の選取もその男衆が出帆日各先を争ふてやつてくれる是等は問屋のなすべき商賣役目であるが、それでも新店や巾のさかぬものでは随分まごつく程であるから素人殊に出帆前種々取込んでをるわが身にはなかくできぬ業である
現今横濱で米國行の旅客を扱ふ汽船問屋(兼旅宿)の重なるもの

は和田彦上州屋山崎屋福井屋讚岐屋津久井屋廣島屋大勢屋松坂屋蓬萊屋万治等随分ある之れ等の孰れを選ぶのは各自の適宜であるが兎まれ角もわれ上陳た如くに問屋に依りて乗船手續をなすことは最も便利且つ極めて必要である

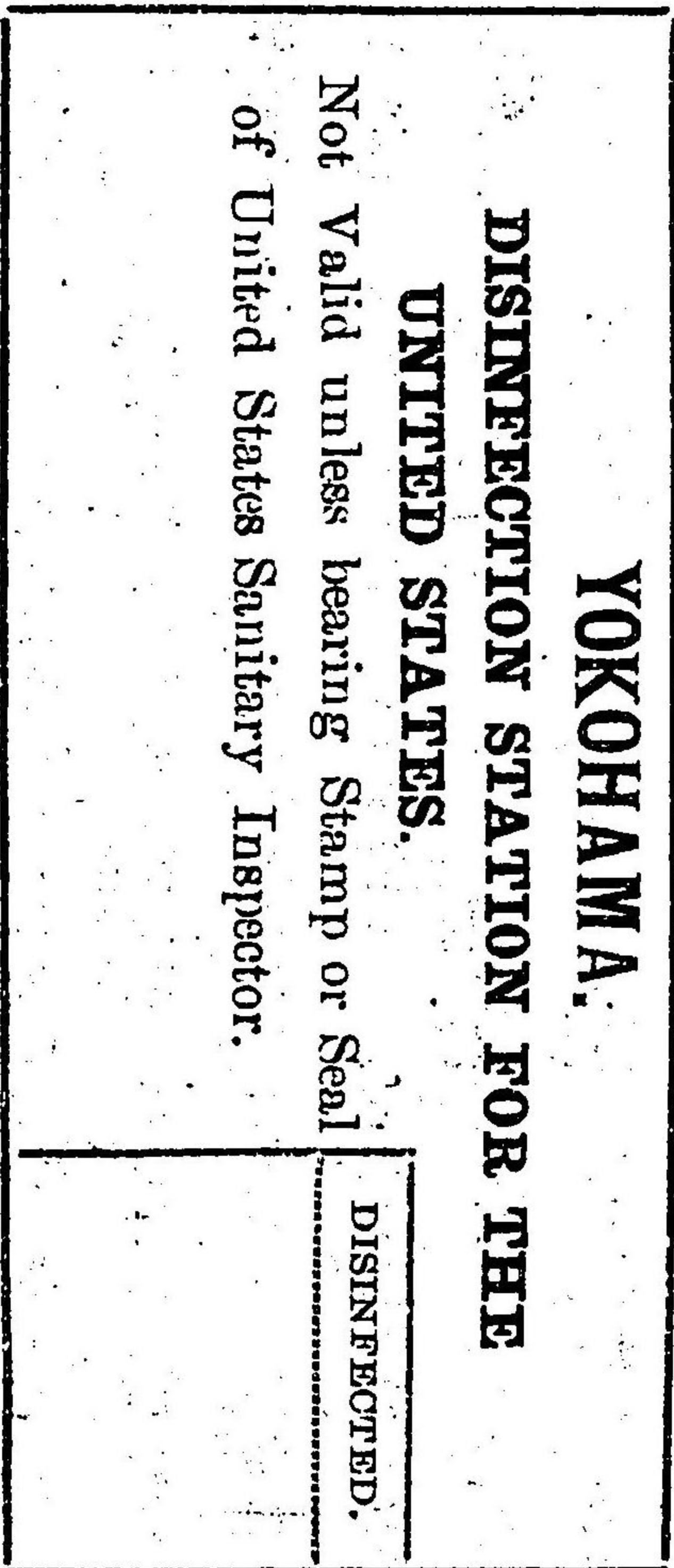
七 檢疫消毒の事

身体からだの檢疫けんえき荷物にもつの消毒せうどくを受けねばならぬことは前項まへの次第しだいであるがさてその方法ほうほうはといふに横濱よこはまでは(各地異なる)出帆しゅつぱん前日ぜんじつ定めまの場所ばしよに各荷物たのくにもつを携帶けんたいして參集さんじつ(問屋で案内もし荷)直すに着衣きものを脱ぎぬて備付そなへつけの衣服いふく(余り清)と着換きかへ之れこれに粗末そまつなる淺黄木綿あさぎもめんの單半被ひとこぼつぎやうのもを被せられ(婦人も同)而してしかその脱ぎたる衣服類きものるるは悉皆持運しつがいちんひたる様ようである

荷物にもつと諸共設けもろともまけの消毒室せうどくしつ内に押入れおしいれらるゝのである斯くて扣所ひかへじよ内に在りて檢疫醫けんえきいの到來きたるを待受まちうけて居る概ね來ぬさうであるがいよゝゝ醫師いしやが來ないことになると係りかの者ものがその旨ひねを告ぐると同時に傍かたへに設けある浴室ようばに順次導じゆんじみちびきて一同どうを入浴ゆかみさせる之れが濟んだものは扣所ひかへに戻りて消毒室せうどくしつより最初さいしよのわが着衣類きものるるを取出としてもらひ之れを身みにつけいよゝゝ放免ほうめんになるてふ爲体ていたらくである而して荷物并にもつにその數かずに應じて渡わたしてくれるその消毒濟證せうどくせいじゆなるものは問屋もんやのものが共に請取うけとりて旅宿りやくに持歸もちかへりてくれるのである

こゝで些事さじながら用意よういすべきは手拭てぬぐひを必ず持參もちさんすること紙入時計かみいれときけい其その他貴重品たきちやうひんは携帶けんたいせざるやうにすること及び着衣きものは成るべく簡略粗末かんりやくそまつ

のものに限ることである又た人によりては特に和服を着用してゆくか或は丹前袍袍の類を持ってゆけば一入の便利で第一心地がよいと思ふことに婦人は以上の顛末をよくわきまへてその用意肝要である念のため左にその消毒済證なるもの、雛形を示す



右の現物は黄色の紙である之れは最も大切なもので之れが貼付てない荷物は未だ消毒の済まないものと認められ上陸の際検査官に容赦なく消毒所に持去られて一定の時間内消毒した後にはあらざれば請取ることができぬことであるゆゑ乗船前の此消毒の際豫め問屋によく頼んで成るべく多くもらふやうにするが肝要である兎角此枚数が荷物の數より不足勝で困る人が實際尠からず尤も不足の場合にはたとへば二個のものを一個にまとめて一枚を貼るとか其他間に合はせの法がないではないが中には左様ゆかぬものもある一寸氣付かぬが注意を要することである

八 訊問と應答の事

検疫消毒の後乗船切符發賣の前に於て訊問を受くることも前項に記したがそも如何なる訊問であるかといふにその重なる要項は左の如くである(なほ委細は附録の移住民取扱細則第拾貳條を參看せよ)

- 一、年 齡
- 二、最後の住所(出發前に住居してゐた場所を指す)
- 三、職 業
- 四、妻の有無
- 五、合衆國の上陸港
- 六、行先并に滞留地
- 七、渡航の目的

- 八、労働等につき在米人と契約ありや否や
 - 九、合衆國に親戚の有無
 - 拾、前渡航の有無
 - 拾壹、船賃は自辨か如何
 - 拾貳、三十弗以上の携帶金ありや否や
 - 拾參、其携帶金消費後は如何するや
 - 拾四、普通の讀み書きなし得るや如何
- 右は即ち合衆國移民取扱細則に據るものである尤も此處の訊問は言はゞ儀式的様のものであるが此調書が米國上陸の際に於ける嚴密の訊問の根本となるのであるから決して粗略にはできぬのみか

もし渡航の目的は既に契約してある労働であるとか又は船賃は在米人に辨じてもらふのであるとか或は三十弗以上の携帶金はないとか答へたなら到底切符は賣りてくれぬ即ち乗船ができぬのである且つその姓名年齢を始めとし總べての答辨が旅券面記載のこと、相違しても事が面倒で殊に此處の訊問と米國上陸の際の訊問とに應ずる答辨が各異るときは事宜に依りて上陸を許されぬといふ不利益を醸すがゆえ此處の答辨決して疎にしてはならぬ要するに渡航の目的は學業研修又は商業見習或は人により視察漫遊の種類が第一無事で渡航先に親若しくは兄弟が居らぬ節は全然行先に親戚も知人もなし況んや労働の契約をや隨て船賃なども無論自辨である携帶金盡さ

て日本の自家より送金もしてくれぬ時は何れの家にか學僕となり若しくは如何なる労働をしても自活の途を立て或は學資を得ん決心覺悟にこそと徹頭徹尾（米國上陸の際の訊問に對しても）相違せず答辨すれば何の故障もなく安全である畢意訊問なるものは一關所の問答であるゆえ之れに應答するの注意は極めて肝要である

九 乗込の事

さて一、夜明ければ出帆の當日である中下等船客は乗込前水上警察署の證印をもらはねばならぬのみか出帆前本船に於て一應その員數并に旅券及び切符の點檢があるにより遅くも出帆の二時間前には乗込まねばならぬ之れ等の注意案内其他解船の準備荷物積込の手配等

は一切汽船問屋で宜敷様にしてくれる
斯くて本船に乗込めば直に問屋のものに就きてまづおのが船室に案内してもらふて其場所を確め同時に荷物の所在と其の敷とを檢知りて置かねばならぬが前に述べた出帆前の點檢が甲板上の一定の場所であるから余りぐづぐづ室内に居たり或はまご／＼諸處を徘徊したりしては不都合である成るべく速かに室外に出でことに中下等船客用の甲板(艦の方)に集合して點檢の招集を待つて居ることを要す但しこの點檢さへ済めばその後は船内何處に何して居やうが自由自在わが勝手である

(疾病に關する注意) 下等船客の米國上陸は甚だ嚴重の檢査を受けた

上であることは前項にも又た後項にも詳しく記してあるが尙ほこゝに注意すべきこと將た各自の心得べき要件があるとは即ち疾病に關すること勿論傳染病もしくは流行病の患者は云はずがなであるが彼の痲病其他梅毒性の諸病症は一切禁物でこの患者は曾に上陸を拒絶されるのみかその病源は總て不品行に基けるものと認定されて送還さるゝにも不道德者として一層卑下されて取扱はれるのである且つ随分眼病や脚氣患者でさへ往々上陸拒絶の口實にされることその例に乏しからずである故に以上の患者もしくはその疑あるものは申すまでもなく總じて病人は渡米を見合はすか或は十分これを治した上でゆくやうにせねばならぬもし万一不幸にも船中に於て發病し

た節は決して之を包み隠すことなく一時も早く船醫にその治療を乞ふこと最も肝腎である要するに乗船前及び寄港地并に船中に於ける各自の行状衛生は大に心すべきで就中意氣壯なる青年旅客の特に深く戒むべきことである

十 船中并上陸の事

船中并上陸の事に關しては今その最も重なる南方東洋汽船會社の桑港航路と北方日本郵船會社のシアトル航路との實況をのみ左に掲げん蓋し之によりて他の一斑を知るに足るべければなり

(1) 東洋汽船會社の桑港航路

(附布哇ホノル、府重要街區略圖桑港市重要街區略圖)

船は出帆時(概ね正午十二時)を違へず錨を抜いて動き始める是に於て出發するもの見送に來れるもの袂を分ち互に帽や手巾を打ち振りつ別れを呼ぶ聲音は本船小蒸氣船の漁笛と相和して響き渡るその内にいつしか人も船も將た陸も次第に幽になりて轉た惜別の情に堪へざるはこの時である

横濱では築港を出ること約二丁余にして停船する間もなく會社の小蒸氣船が走り來り其乗込の社員并に水上警察員などが直に船内に入りて隈なく嚴重に檢視する是は密航者を搜索するがため時々捕へられるかくて凡そ一時間餘を経て之を了るや否や本船は再び動き始めてもはやホノル、港到着に至るまで凡そ十晝夜間絶へず進航す

るので之れからが暫し眞の海上境界船中が一時のわが住家となるのである

されば本船出帆後即時でも或は晝食後でも隨意だが成るべく早くれのが船室即ち所謂住家の整頓に取懸ることを要す今その心得方を説くに先だちて下等船室の概況を述べやう(以下船内の事は香港丸に據るものと知るべし)

そも中下等船室は本船の艙部に位しその甲板の下方に中等船室がある下等船室は更にまたその下方即ち後甲板上より二段の梯子を降りたる船底に近き處にある(支那人の下等室は別に艙部の下方にある)此室内に四人並び三段の寢床が左右中央の三列に設けらるゝのみで

且つ荷物類は隨意に便宜の空所へ置くので随分混雜の奇觀である就中その中央で成るべく艙部に近かる場所を占領する方が動搖も幾分か穩で萬事勝手がよさうに想ふ故に出來得べくんば乗船前豫めこの旨を問屋の室取によく頼んで置くがよからう

さてその寢床はと云ふに各一段毎に横木がわたされてありて之れに直角に巾凡そ三尺餘長凡そ五尺余のズツクをその兩側棒に括り付けたる宛然擔架様のものを一人に一個の割で順序よく並べて嵌込んであるのみで毛布其他寢具用のものは何もないまことに不作法な究屈なものであるが習ふより慣るで遂には所謂三階の昇降も苦にならず極低い天井に頭も打ちつけずなりて矢張り心地よき睡眠に夢結べる

様になるのも可笑い兎に角この時こそ船中唯一のわが住居であるゆゑ此處を整頓すること第一である依りてまづその周圍を清め掃ひ毛布を布きなほ手荷物中より日常必需品を取出して便宜の處に置き且つ荷物類は出來得る限り手近に引寄せ置くを便利とすそこで成るべく簡略の粗服(下等船客の服装は何でも構はぬ唯だ甲板上に出る時少しく注意すればよい)に着換へ殊に布哇に近くづくに従ふて暑くなるが故豫め薄衣を取出し置くか又は引出し易き様になしてその他の不用物は悉く之れを収め入れ就中貴重品は(金子も小遣錢のみあれは足れり)一切堅き錠の行李内に藏め置くなど要するに一世帯持ちたる心して夫々整頓すべし

右の整頓了ればその寢床内に坐臥して居やうが或は此處を明巢にし

て甲板を飛び歩かうが(唯上等船客用の甲板に行)少しも氣遣ひ無用氣隨氣儘だが折を見て受持ボーイの顔と姓名とを見聞して覺え置くことが必要である(ボーイは一切の世話をしてくれるもので中には一人に二圓以上付けてはないがやれば一層便利であることは言ふまでもない)されども上等船客のやうにボーイと呼び使ふわけにはゆかないのである

こゝに最も特筆すべきことは食事である第一まだ勝手慣れざる出帆日の夕飯から船中でやるのであるゆゑ之れは大に心得て置く必要がある食事と云ふても決して堂食の設はないが食事時になるとボーイが辨當箱に入れて湯茶と共に室内に持ち運んで来てくれる喰べて仕舞ふとボーイがまた取片付ける後を掃除する客は甲板へ出て食後の

運動でもするといふ体裁であるけれども乗客の数が三百四百人とな
ると辨當箱では運ばない前以て食食用の木札而かも一人一枚では
なく概ね十人位に一枚の割(これは乗客の數にもよる)で渡されて三度く之れと
引換に食物をもらふと用ふ爲体である要するに豫め組をつくりて置
かねばならぬこの場合に於ては食事時になると鐘がなるそこでこの
木札を持って甲板上のコック部屋まで取りにゆくポトイが逐一木札と
引換に渡すその食事はといふに飯が一盛菜と漬物とが各一鉢で器物
は悉皆圓形の金物製である(一人宛の木製辨當箱の類では手入がなかく屈み
す却りて不潔である故わざと改良したのださ
だ)茶も湯も共にくれるが各々その入物を持参せざればもらへぬ茶
碗と箸とは上陸の時まで貸し切りにしてくれる而してこの請取りた

食物等は或は直ぐその場でも或は室内に持ち歸りてもよいが別段食
卓の備があるのではないから皆な圓く之れを取圍んで立ち乍らのもあ
り屈むもわり中には下坐するものもあるなど千種万態各適宜の姿勢
して分食するのである食べ了ればその器物を悉くもとのコック部屋
に戻しにゆきてまた之と引換にポトイより木札を請取りて歸る(此木
引換でなければ食事をもらへぬのである)此の如くして毎日三度くの食事をするので甚だ
おつくりであるが之れも慣れると普通になりて案じる程のことはな
い右の次第ゆゑ最初は少しも食へぬ(殊に下等のことであるから御
馳走もないゆゑ)そこで携帯の食品を用ふるのも隨意で中には相當
の代金を拂ふて食事のみ別に給してもらふ人もある随分スチエウー

ド又はボーイに特に談示れば強ちに出来ぬと云ふわけでもないやうだ然し此會社汽船の食事が悪くないせいであるか或は慣れのせいであるか間もなくかゝる食事ですら待遠しくなつてくる殊になまじひの洋食すれば却りて厭か來てこの日本食の方が戀しくなつてくるのは事實である依りて乗船早々の感を以て輕卒に餘計の金を出して後で悔いざる様まづ暫く粗食に忍ぶの覺悟が大に得策である事の序に注意して置くことは食樣時を誤り過すと遂に食ひ外づれる兎角朝寢のものはこの事有勝であるゆる用心肝要である尙ほ甲板に出用辨せなければならぬは食事のみでない毎朝の洗面も甲板上の水管ある處まで自ら盥を提げてゆかねばならぬのである總じて甲板上

は用辨のみか遊歩の所場であるが船中に行はるゝ検査の場所も矢張りこの甲板であるこの検査といふは本船乗込の醫師が毎日又は隔日その午前に船客一人宛甲板上に呼び上げてその健否を診査し若し病あるものは設けの病室に容れ或は醫藥をくれるのである(船中疾病何時にても診察を受け服藥治療するに得勿論無料とす)ことに種痘をされることがあるもし船中の種痘を好まぬとなれば乗船前種痘した上乘込むべしさすれば之れを免かるべし
右の外船中に於て特に最も注意を怠るべからざる要件は航海中同日の重なることである是は太平洋上東西經度の界(百八十度の所)即ち東半球より西半球に乘移るの時に生ずること概ね横濱出帆後六

日目ホノル、到着の四日前位の日程に當るのである例令東半球なる日本より數へ來りて六月四日たるべき日が此線にかゝるときは更らに前日に溯りて三日となるがもし之れに反して西半球なる米國等より日本等の東半球へ來るの節太平洋上の線にかゝるときは一日飛越えて六月三日たるべきものが四日となるものにて前者は一日を減じ後者は一日を増すのである事は地理學上の學理に因ることにかく東西兩半球交互の日數増減によりて世界の日數が平均せらるゝので畢竟日本の六月四日は北米合衆國の六月三日に當るべき理と記應すべし此の如く此兩國間に於ては日に於て正に一日の相違があれど時間に於ては僅々七時間位の差異あるに過ぎないが是れ逆も米國

着後俄かに生ずるのではなく日本出帆以來時毎に其差を漸生ずることとで船ではために常に毎日の正午十二時を期してその時計(上等船室ラルホール即ち中央甲板上)を直す規定になつてをる凡べて日時に關するの食堂への降口に懸けある事を最も大切なるを以てこゝに之れを特記するのである先づ上記の事共が此航海中の船内に在りて心得べき要項であると思ふなんにせよ可なりの長道中而かも見渡す限り唯だ沙漠所謂極目森茫天と與に一碧とはこの事で時に魚躍り鳥舞ひ來りて思はず快哉を呼ぶ事ありと雖もこは一時の興たるに過ぎず或は又た旭日の輝き出でんず朝景將た夕陽の傾き入らんず晚景ことに風靜かに波穩なる夜間大鏡を照らしたらんごとき月景など正に是れ得易からぬ太平洋上の一大

壯觀であるが日を経るに随て慣るゝ目には次第に珍しからずなり
果ては水又た水の行先にいつも變らぬ萬目の風光全く厭を來たし讀
書談話にも倦み酒も菓子も甘からずなりて頓に無聊を感じ徒然に堪
へざるに至る此時に乗じて船の前方では時を汁粉索麩などを製へて
之れを賣りに來るいづれも飯茶碗一杯五錢といふ余り安からざる値
段で且つ風味も左迄止等ではないがなかく賣口がよいのみか之れ
が一の樂みになる位だ而してそろく隠藝の顯れ來るはこの頃から
で室外では擊劍(道具は船に備付あり)も始まる室内では淨瑠璃鼻歌手踊或は詩
吟劍舞或は講談落語或は音曲の類など随分賑でなかく面白し之れ
等を集め互に寄合ふて演ずれば遣り方で意外によら散齋の途を得ら

れる要するに船客はつとめて懇親一致成るべく少なき出費を以て成
るべく多くの快樂を得るの途を講ずるが專一である是は常に船中の
無聊を癒し得らるゝのみでなく之れによりて圖らざる双互の利益を
收め得らることあるからである

(ホノル、寄港碇泊の事 附ホノル、府重要街區略圖)

横濱出帆以來爰に九日目其間久しく山も岩も見ず全く水のみには厭果
てたる頃しもおな珍しや遙か彼方に幽なる島影、そら嶋が見えたぞ
と一聲諸共流石に待ち疲れたる船客一同飛び上りて甲板に立ち出で
つ眺むる程にやがて此島(布哇列島中の一な)を通り過ぐ聞けば遅くも明
朝はホノル、着と云ふにぞホノル、行の船客は上陸の準備を調ふる

に忙しく桑港行のものもはやホノル、を夢みつ其夜を經たる翌日果してホノル、の港頭に着し暫時此處に船を停めて檢疫船の到來を待ち受く既にして檢疫官出張制規の手續を了れば直に進航して港内棧橋の横にひたと着船す是に於て移民局吏并に税關吏出張し上等船客は直に上陸す中下等船客（本港へ揚る）は制規の嚴密なる取調を受けた後他の小船に乗換へて港内の消毒所に送られこゝに一週間を經過するに非ざれば上陸を許されざるものとす而かも桑港行の中下等船客も亦た均しく一步も本船外に出ることを嚴禁さるゝので身は着港のながら唯だ茫然と甲板上に佇立んで税關倉庫の屋根越しに遙かに高く颯々たる（當國行政廳の）合衆國旗を指しつゝ、土色暗紅の山

景を打ち眺め顧みて水色濃藍の海面（此二點は當地の特色と想ふ）を望み左方の海岸に粗造なる鐵工所の家屋其傍に碇泊せる米國船より袋入の石炭陸揚（布哇には石炭産せず皆な）の狀右方の小島に煉瓦造の檢疾消毒所その他（米國より輸入する所だ）は見るに足らぬ雜風景をやむを得ず見るのみで鐵道馬車あり電車鐵道あり人道車道あり其兩側には宏壯の洋館並立して歐米に彷彿たりといふ市街等は遂に之れを視ることができぬ殊に雲霧多くして降りみ降らずみの天候而かも蒸暑く夏衣でも凌げぬ（尤も夏季ではあつたが）なか／＼以て當地名物のバナ、ヤキヤリ、フアルニア、オレンジ（共に土人が船内）位ではこの不平が癒えない加ふるに眼前船の内外に於て憫れなる土人が貨物の揚卸や運搬に白人に逐ひ使はれて居るそ

の状を目撃して轉た亡國の民に同情の感を催し來りていよく鬱然
となる傳へ聞く所に依れば現今此國在留の日本人は約六万でその外
人中最多數であるさうだ

右の如く桑港行の船客は上陸ができぬので前夜の樂に引換へて一同
概ね不平だらう。此位なれば寧ろ速かに出帆してわれ等の目的地た
る桑港へ一時も早く向ひたいなど各々かこちつ、遙かに輝き渡る市
中電燈の光を睥睨で空しく船中にその日を暮らさなは且つうるささ
蚊と蒸す暑とに苦しめられてその夜を過しさてその翌朝當港を解纜
して桑港に向ふと云ふ始末であるが數ふればまたあと六晝夜間再び
陸地と絶縁かと思へばそゝるに名殘の惜まれて素より俗にいふこじ

んまりしたよきこの港灣（甚だ狭くはあれど）今更の如く一段と見
映がするのもおかしい凡そ人間ほど我儘勝手なものはなからう此處
で必要なるは日本への發信である何がさて横濱出帆後十有余日の事
で故郷のものは一日も早くその消息を聞きたいが人情で無事を知ら
すは旅客の務でもあるが丁度本船が出帆すると行違ひに桑港より日
本行の便船がこゝに寄港する日割になりて居る故此處で投函した發
信は桑港着後のものより余程早く日本に着信するといふことである
以上の他當港の實況等を詳述すべきであるが是は本紙の主旨でなき
ゆゑこの項はこれにて終結とし唯だホノル、府の最も重要なる（わ
が同胞に）街區略圖を左に掲げて聊か上陸者の便利に供せん

よき場所に檢疫船を待受けつゝ停船するのである
流石名にし負ふ太平洋岸有数の最大商港遙かに瀾迤たる丘陵が裕に
島嶼を抱けるその豁然たる廣灣がなほも沈演深く廻り曲りてその南
北の長約六十哩東西の巾約九哩未だ此時にはわが上陸點すら窺ひ知
るべくもわらずといふ次第で眞に是れ天然の良港その宏大なるは正
しく大國の規模を顯せるものと云ふべしだ
加之 遠目に見ゆる宏莊の建物が頗る稠密で而かも整然と立ち並べ
る市街の壯觀ことに目前大小の船舶が絶ゆることなく極めて頻繁に
行き通ふ光景將た又た幾多の棧橋(この海岸に三十有餘の棧橋あり云ふも)が榴齒のやうに
並列せる狀況など唯々感嘆の外なしであゝ文明國の港灣なるものは

實にこそ此の如かれとの感を催さざるを得ない
是より先き大陸が未明より得見られつはや既に陽に近づきたりと呼
ぶ聲に目を醒して床を起出でたる船客は喜び勇んで夫々身仕度荷仕
未をするのであるが此際心すべきはその荷物に彼の消毒濟證が正に
逐一貼付あるや否やを檢べ(もし貼付あらざるときは前項に注意したやうのこ
途を講じなければ)なるは之れを一纏にして置くことである
左る程もなく檢疫官は到來るやがて中下等船客は悉く甲板上に招集
される同時に船客一人宛室内に呼び入れられて檢疫を受ける隨分着
衣を脱がせられる位嚴密に檢査される尤も婦人の船客は特に女醫が
來りて別室で之れを行ふことになりてを而してもしこの際傳染病

者(又は流)が一人でも船中にある時は(方法は異れどもこの検査は船中の乗)事
 能甚だ六ヶ敷くて之れがため暫時上陸を許さぬといふことになるが
 然らざる時は易く終結するのである故に船中一般各々衛生に注意する
 ことは管にのれ一人のためのみでない
 斯くて検査が無事に済み續いて荷物に消毒済證有無の點檢が悉く了
 ると更らに出張の移民局吏(或名の内一名)が前に漁船會社で旅券に附
 記したその番號の順次に一人宛別室に呼入れる依りて旅券を差出し
 て再びこゝに訊問を受けるのであるこの間に本船は進航してやがて
 メールドック(所謂日本波止場)の棧橋に横付けに着する(但し船内
 者其他の故障あるときは此限りでないのみ往々)そこで上等船客は直に上陸
 一旦消毒所へ廻されることがあるそうだ

するのであるが下等船客は眼前に出迎人(は悉く此處に集)に接しながら
 日本人下等客全員の訊問が済み了らざる前は決して上陸を許されな
 いのである特に心懸くべきはこの出迎人又は船外の人々と決して
 口を交へないことで就中婦人はたとへ夫たりとも親戚たりとも必ず
 之れを近づけてはならぬ蓋し之れによりて圖らざる不利益の嫌疑を
 蒙る(或に)素因となるさうである
 此處に於ての訊問事項は敢て乗船前のも大差はないがその方法が頗
 る嚴密で一層入念であるからこの心構して狼狽ずに前通り齟齬せざ
 るやうに答へねばならぬ婦人は(夫同伴の)夫婦になつた證據類があれ
 ば之れを持參する方最も好都合である尙ほ夫が既に米國に住居して居

るものは夫よりの書簡等を携へて来る方萬一の用心である要するに
答辯其他心すべきことは前通りである

兎に角この訊問は入念だけに手間取るがゆゑ船客の員數が多いか或
は着船の時間が遅いかして移民局又は税關の執務時間内(概ね午後
三時四時限

り)に之れが済みさらぬ節は残りの分は翌日に廻されて一同(訊問済
も)其儘空しく船内に泊らねばならぬ即ち上陸は明日になるので隨
分不快の感に堪へぬが已むを得ない孰れにせよこの訊問が滞りなく

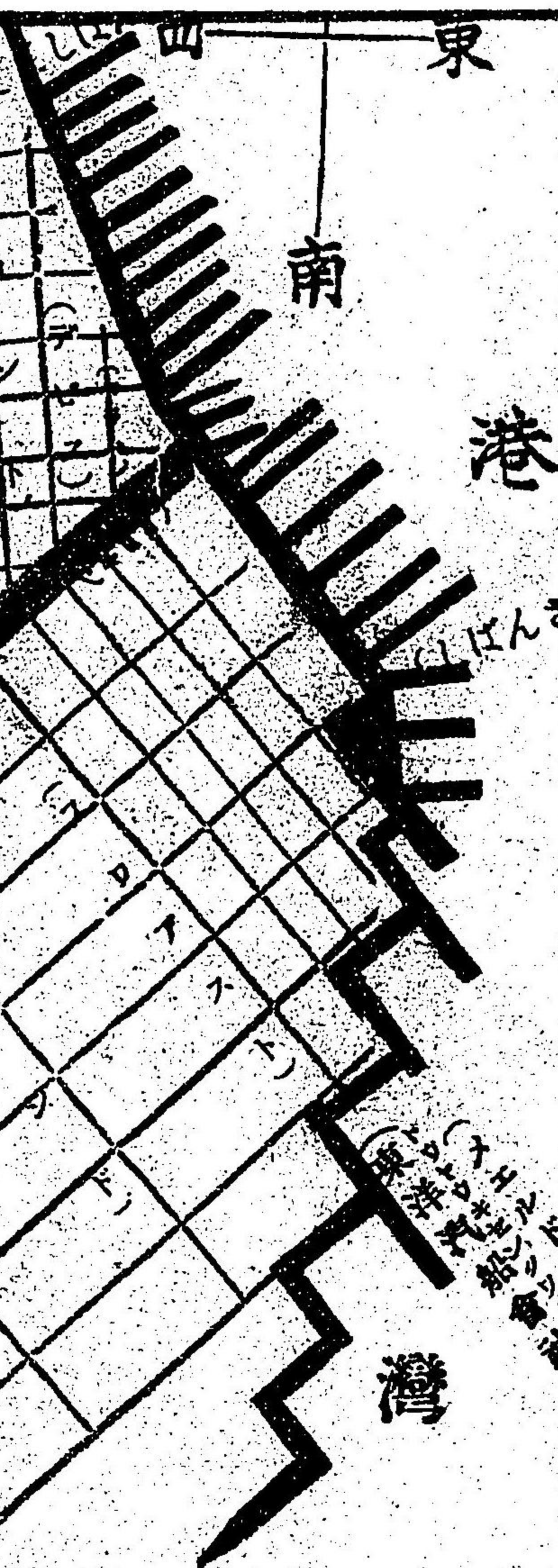
濟んで上陸差許されるものは切符と引換に一の訊問済上陸許可證と
もいふべき手形様のものを移民局吏より交付してくれる是に於て之
れを船門看守の税關吏に渡して始めて船外に出られる即ち上陸がで

きるのである但し差出した旅券は移民局より日本領事館に廻附さる
るのでこの際には戻してくれぬ追て上陸の後更に領事館へ請取にゆ
かねばならぬのである

日本人協議會)斯の如くして上陸するその際に荷物類は一切各自に
へ通告すべし)船門まで引摺り出すので其處には豫備の税關附屬の工夫が荷馬車と
共に來て居りて直に之れを積載せて税關の検査所まで運んでくれる
ゆゑ船客はその後に隨つてゆきさへすればよいのであるやがて荷物
は下される急ぐものは早速之れを便宜の場所に纏め置きなほ悉皆蓋
を開けて(錠あるものは)税關吏をつれ來りて検査を請ふてもよい税關
検査の嚴密なるは何國でも同じ事では是れは致方ないことである即ち

万一不當なる上陸拒絶に遇ふたときは郵書にてもよき
故直に船中より其旨を在米日本領事館に急訴し並に

有税品と認められたものはその手續をせねばならぬが然らざるものは無事に検査済の印を附けてくれるさすれば隨意に荷造してよろしいのであるそこでいざ立出でんとする際に税關吏は抜目なく立廻りて制規の人頭税(一人に付二弗但し未)なるものを取立てる依りて之れを支拂ひその領收證(此證書は極めて大切に携帶保存せねばならぬ在米中此れを紛失したり又は此を携帶せずしてもし途上取調へられし之れがなきまきは重て人頭税を請取ればこゝに上陸の手續は万端悉く済了りた頭税をさられる)を請取ればこゝに上陸の手續は万端悉く済了りたのである此後は出入進退勝手次第しく在米者の一人たることを得るのである此際注意すべき要件は荷物運搬のことである當地ではエキスプレツスと云ふもの即ち貨物運搬業者が有りて(日本人にも之れを管めるよ)たゞにこの波止場の荷物のみでない市の者外を問はず届先を指



(ニイリダ)	
(チレアダ)	
(イエウダチロア)	
(クツキフシバ)	
(ンツクヤツ)	
(ントンシロ)	
(イレク)	
(トンメラクサ)	
(ヤニルチフリヤキ)	
(ンイバ)	
(ユシツダ)	
(アタサ)	
(トスポ)	
(イリエダ)	
(ルレアフツオ)	
(スリエ)	
(イテツエ)	
(リアタ)	
(ウニエツアトエダ ンデルチゴ)	
(アタスリカツマ)	
(ントルフ)	
(アウロダ)	
(スイヘ)	
(ルエフ)	
(グチオ)	
(ジイヘ)	
(トエヘ)	

公 園
ニナルテンゲエト

備考
市街の西北部は漸次高台となりて之れを上市と云ひ東南部を指して下市と呼ぶ凡そわが一町四方を正しく区割して之れを一ブラツクと稱す
總べて一月毎に番號を附し上市に登るに随ふて大なり西又たは北に向ふての左側は奇數その右側は偶數なり

示し賃銀を確定め（賃銀は成るべく荷物割）さへすれば直に引受けて決し
て間違もなく届けてくれ至極便利のものである税関の門口にも来て
居るから荷物は一切之れに托す方がよいのみか市街を歩行には成る
べく身輕を要するのである（今便宜のためわが同胞に最も重要なる
地域のみを抜萃た桑港市の街區略圖を掲げたれば宜しくこれを参照
せよ）

(2) 日本郵船會社のシアトル航路

（附沙都市重要街區略圖）

横濱出帆（概ね午後三時）の模様并に船中の心得等前項東洋漁船會
社の桑港航路と殆んど大同小異なるを以てこゝには唯だその異なる

點のみを記さう

さて日本郵船會社本航路汽船の普通三等室（下等室）はその位置略ぼ前項のと同じであるがその構造は大に異りてをる却ち寐床は二段で各六尺四方に圍へる板敷の上に蔭が敷いてありてこれが定員四人詰のことになりてをるもとより前項同様に毛布其他寢具用の類は一つも備付けてないが伊豫丸の如きは下等船客用の浴室及び洗面所が特に設けてある是は恐らく他に比類なき特點であると思ふことに著しく前項と相異せるは航海中の季候で横濱發四晝夜後は四五月頃でも降雪に遇ひシアトル着二晝夜前までは非常に寒いがシアトル（我千島と同緯度なれどその海岸に暖流あるがため）に近づくと

に隨ひ漸次寒氣が緩で來るといふ有様でこの點は桑港線と全然正反對である總じて本航路は冬分（十月より三月まで）氣候太だ惡しきのみか海上も大に不穩であるが夏分（五月より九月まで）は氣候も冬程でなくことに海上は極めて靜穩である要するに本航路は横濱出帆後ヴィクトリア到着に至るまで凡そ十二晝夜其間四邊渺茫唯々水天髣髴の大海原を徒然に進航するのみであるが（彼の航海中日の重なるは横濱發後凡そ七日半目頃である）ヴィクトリア着十四五時間前より初めて島（ヴァンクーヴァー、アイランド）が見えるこれよりして續々陸地が眼前に顯れ來りやがてビユーゼットサウンド、チャネルと云ふ瀬戸に入るや遙か前方に所謂タコマ富士（山の形わが富士山によく似るを以て此

名なり)を眺めつ遠く左右に兩岸(最廣約四十哩)を望みつゝ進入
ること凡そ四時間の後ヴィクトリアに入港す而して前にも述べたる
が如くこの入港が午前なるときはその午後に出帆して即日シアトル
に着すもしこの入港が午後なるときは一夜此處に碇泊してその翌朝
シアトルに着すのであるが孰れにしてもヴィクトリア發後三時間に
てポートタウンセント(檢疫所并に税關本署のある處)に達して、
に三十分間船を停めて檢疫その他制規の検査を受け了るや直に進
航して約三時間の後シアトルニ到着し而して船はスミスコーヴの大
北鐵道會社棧橋に横付となる是に於て一等船客は已がまに上陸
するのであるが特別三等(中等)及普通三等(下等)の船客は移民

局吏の訊問取調を受けた後にあらざれば決して上陸を許されぬこと
并にその訊問の模様や之れに關する心得等は前項の桑港線の場合と
毫も異なる所なく唯だその取扱上旅券を取上げざること、船客各自
の健康證(船中に於て使用た)に取調濟の檢印をして之れを以て上
陸許可證に代用すること、が相異せるのみである
かくて上陸の手續萬端濟了り荷物類も其場に出張せるエキスプレッ
ス即ち荷物運送業者に托し(桑港と大差なし)而して船を出たこと
ろでこの到着點なるスミスコーヴはシアトル市の街外でことに我同
胞の赴かんとする街區とは大に懸隔れるを以て此處より更に市街鐵
道にて市中のフワースト、アヴェニューまで(此間凡そ十五分車賃

五仙^{セント}に到^{いた}らねばならぬのである（今便宜^{いまてんぎ}のためわが同胞^{どうぼつ}に最も重要^{もつとちゆうじゆう}なる地域^{けいしよ}のみを拔^{かきぬ}萃^あた沙都市^{セントラル}の街區^{まちのりやう}略圖^{りやくず}を掲^かげたれば宜^{よろ}しく之^{これ}を參^{さん}照^せせよ）

以上^{いじゆう}は冒頭^{はつとう}にも斷^{ことば}りた如^{ごと}く單^{たん}に桑港^{シムコ}航路^{かうろ}と相異^{さうゐ}の點^{てん}のみを記^ししたも
のなれば宜^{よろ}しく前項^{まへ}の東洋^{とうやう}汽船^{きせん}會社^{かいしや}桑港^{シムコ}航路^{かうろ}と對照^{たいせう}すべし

十一 上陸後の事

さていよいよ上陸^{じやうりく}して繁華^{はんか}の市街^{しやがい}にさしかゝるのであるが左^{ひだり}まれ右^{みぎ}まれ異國^{いこく}の市況^{しやかう}觀^みるもの一^{ひと}として目新^{めあたら}しらかざるはなく壯大^{そうだい}高層^{かうそう}の洋館^{やうかん}が兩側^{りやうがは}に建並^{たたら}び丈高^{たかたか}き白人^{はくじん}色黒^{いろくろ}き印度^{いんど}人^{じん}さては懐^{なつか}しさわが同胞^{どうぼつ}之れと同種^{どうしゆ}の支那人^{しなじん}など種々^{しゆしゆ}雜多^{ざた}の人種^{じんしゆ}が入亂^{いりみだ}れて忙氣^{いそがしげ}に歩行^{あるまは}れる

その状^{さま}或^{ある}は網索^{かうさく}鐵道^{てつどう}、電車^{でんしゃ}鐵道^{てつどう}、馬車^{ばしや}鐵道^{てつどう}（^{いづれも市内一線路は}）その
他^た各種^{かくしゆ}の馬車^{ばしや}が縱横^{じゆうかう}參差^{さんさし}馳^ちせ廻^{まわ}れる態^{たま}など新來^{しんらい}者^{しや}には一寸^{いちゆん}まごつく
程^{ほど}の繁昌^{はんじやう}混雜^{こんざつ}であるされど人道^{じんどう}車道^{しやどう}ことに街區^{まちのりやう}は明^あかに區割^{くわい}れて万
事^じ規矩^{ききよ}整然^{せいぜん}たるが故^{ゆゑ}に慣^なれると日本^{にほん}などよりは往來^{わうらい}安全^{あんぜん}のみか町内^{ちやうない}
がまことに分^{わか}り易^{やす}くて甚^{はなは}だ好都合^{かうごう}であるそこで上陸^{じやうりく}後^ご先^{まづ}第一^{だいいち}に必
要^{えい}なるは旅宿^{りやうしゆく}である現在^{げんざい}市内^{しやんない}で日本人^{にほんじん}の營^{いとな}める旅宿^{りやうしゆく}下宿^{げしゆく}屋^やなどは中
々^{なかなか}其數^{そのかず}尠^{せう}からず（^{なほ廣告欄及び附録の}）^{（營業案内を參看せよ）}だが所請^{しよせい}處^{ちよ}變^{かは}れば品變^{しなをば}るで習慣^{しよくわん}
が日本^{にほん}とは大^{おほ}に相違^{さうゐ}して居^ゐる其次^{そのつぎ}第^{だい}は此地^{このち}では世帯^{しやたい}持^{もち}の外^{ほか}は總^{そう}じて
（日本人^{にほんじん}のみで）食^{しょく}事^じは其都^{そのつど}度^ど食^{しょく}事^じ店^{てん}でする風習^{ふうしゆ}であるから一般^{いぱん}にその
向^むきになりてをる尤^{もつと}も日本人^{にほんじん}の旅^{りやう}店^{てん}でも食^{しょく}事^じを供^{まか}するものもあるし

西洋人の旅館でも食事付宿泊と食事なしの宿泊との二種あるが、いづれも室料と食料とは明かに區別されてある。普通日本人の商店では室料一日(又は泊)十仙以上でその食料も一食十仙以上で(日本人の營業料理店も随分ある廣告欄及び)ある此他商店以外にありてもたとへば桑港(附録の營業者案内を參看せよ)へート街の青年會ゲリー街の福音會のごときその他日本青年の宗教團體は信徒でなくとも前記と同値で宿泊も食事もさせてくれるやうなものがある。西洋人の旅館は上中下共許多あるが食事付宿泊料は普通三食付一泊一弗二十五仙で食事なし宿泊料即ち室料のみが普通一日一泊五十仙で食事は一食二十五仙で供してくれる茶代などは要せず存外高くないのである。彼の桑港のフィアス街でミツシヨン街との

角にあるコスモボーリタン、ホテルの如きは即ちその格で勿論上等ではないが取扱が可なり懇切で日本人のよく泊る旅館である。またシートルではジャクソン街でセカンド街との角にあるグレートノーザン、ホテルの如きは宿泊料十五仙より一弗まで望によりては賄をもするし第一その支配人が日本人であるゆゑ我々には一入の便利である。此他日本人でも外國人でもその自宅の一室を貸さんとするもの至る所にある所謂「トモ」など、屋外に貼り出してあるものは皆その類でなほ日々の新聞に澤山廣告してある。次ぎに必要なものは理髪店と湯屋とである。之れ等も日本人の營業者尠ならず且つ兼業のものが多し値段は概ね左の如くである。

散髮料(剃髪料)

貳拾五仙(此二つは全然別て日本とは異りて)

髻剃料

拾五仙(居る)

入浴料

拾五仙以上

前記の外日本人の營める各商店は目下其數甚だ多い之れ等の重なるものは附録の營業案内及び廣告欄に就てこれを知るべし尙は新來者にして知人か頼る處あるものは格別然らざるものは總べてその地の帝國領事館又は新聞社其他日本人の重要團體(みな附録に掲載せり)に赴きて万事の教示を請くるやうになすべし

十二 英語と語學の事

渡米者に英語の必要なるは云はずもがなであるたとへ會話は出來ぬ

までも多少英語を解するか又は普通英字の讀書をなし得るものは万事に利便多く好い働口も早く得られる殊にヴァンクラーなどの如き英領加奈陀地方に於ては彼のナタル法なるものが制定せられ即ち多少の英語を解するものでなければ國へ入れぬといふ掟がありて而かも近來之を勵行することになつたそうであるゆゑ此方面に赴かんとするものは尙は更普通英字の讀書位(會話は出來ぬとも)はなし得らるゝやうにして行かねばならぬ況んや學業商業等の目的を以て直接白人相手に事を爲さんとするものは云ふまでもなく我邦に於て十分英語を研修して而して後渡米する事を要すされど我邦に於て修めた英語は随分その研修を積んだものでも發音音節を始め俗

語訛言等につき尙ほ實地の練習を重ねるに非ざれば他の言も聞取れぬし又たわが言も通せぬまして短日月速成的に修めた英語は殆んど實際の用をなさぬと云ふても敢て過言でない
然らば則ち我邦に於て十分英語を研修た後に非ざれば渡米すべからざるか將た又た英語の素養全く之れなきものは渡米を企つべからざるかといふに目下この太平洋沿岸地方（英領加奈陀地方に於ける上陸等の場合を除く）にありては全然英語の素養なきものと雖も渡米して決して日常に差支ふる事これなきのみかまた相應の働口もある且つ又た彼地に於て研修の途は多々あることに自身の注意一つで自然に必要に迫られて漸次了解するやうになる蓋し幾分にては英語の

素養あるものはその進歩も一層早く勿論之れあるに越すことはないが若し渡米前に研修の違なきものは寧ろ渡米後に已の注意と勉強とを以て彼地に於て十分研修の方針にした方がよい要するに目下此地方に赴かんとするものは英語の心配は殆んど無用と云ふても可なりである一口に言へば英語を解せざるものも來て困ることは決してないなほ極端に言へば或一部の人（多くは労働者）は彼地に在りて全然英語の必要を感じざる程である何となれば此地方には既に多數の同胞が在留してその一社會を成し旅店、飲食店、湯屋、理髮店、洗濯所を始めとし雜貨其他日用品の商業は同胞によりて營まれ尙ほ且つ病めば日本人の醫師あり職業を求むるには日本人の桂庵あり而か

もその職業の中には單に手足の勞のみにて英語を全く要せざるもの
 尠からず（職業に關しては次項に詳述せり）而して平素内に相會す
 るものは同胞の友にして外に出づるには同胞の伴があるといふ有様
 であるものから英語を解せなくとも毫も差支がない否な人によりて
 は殆んど英語の必要がない位であるされば永年居て金は出来店も出
 來たが語は出来ぬといふ人が敢て珍しからぬ所以である然れども是
 は寔に惜むべき事でもしそれ丈けの忍耐力量ある勤儉貯蓄の人が今
 一步進んで言語が通じたなら尙ほより多くの成功を得るは必然で寧
 ろ大に憫むべき事である且つ夫れたとへ既に多數の在留同胞がその
 一社會を成してをるとはいふものゝそは白人世界のはんの唯一隅で

例へば白人の劇場に於て而かも白人看客の面前に白人俳優と打混り
 て出演せる日本俳優の一小樂屋たるに過ぎない故に自から俳優たる
 の本分を忘却その權利を放棄して終始その狹隘樂屋の内のみ閉籠り
 てをるものか或は台詞を要せざる獨特の所作事に長じて十分一人舞
 臺の伎倆を有せるものは格別否らざるものは少なくとも已が持役の
 台詞だけにても陳べらるゝやうにせねばならぬ然らざらんには到底
 舞台に出演ん事思もよらず俗に所謂馬脚の用にも立ちがたきのみな
 らず勢ひ唯々その樂屋内に於ける同胞俳優の下廻となりて常にその
 雑用に遂ひ使はるゝの外はなく隨ふて出演は勿論藝を修め伎を磨く
 などの機會に至りては畢竟絶望と云ふべしである要するに在米同胞

にして英語を解せざるものは云ふまでもなく俗に所謂啞者明旨に異ならず音に白人に對してわが意思を表示しわが權利を主張する事能はざるのみか同胞間に在りてすら常にその言語に通ぜざるものに先を制せらるその不利益不愉快は實に尠少のものでないことに此地方は普く生存競争の太だ激しき地で加ふるに概ね亞細亞人(東洋人)排斥の熾なる所(所によりて其度合を異にすれども)なるを以て英語を解せざる同胞がこの嚮に身を投るは宛かも啞者明旨が人氣の惡しき而かも往來の雜沓太だ激しき街道を歩行と均しくその不安心は尋常一様のものにわらず寧ろ危険至極と云ふべしである

抑も日本人は外國の學理學術を應用する事に就いては大に進歩して

をるが外國の言語を實利的に活用するの一段に至りては甚だ迂遠寧ろ遲鈍で支那人の方が余程敏捷である(蓋し英語の如きは日英語と清英語と言語系統上の關係相異せることあるにも因るなるべきが)惟ふに是れ支那人の實利的或功多かる所以の一なるべしと信ず一口に支那人の英語といへば所謂「ビジョン、イングリッシュ」で彼の多くは實に一種獨特奇怪至極の英語をば臆面もなく寧ろ大胆に濫用して而かも着々其意を達し其用を辨じてをる蓋し彼は文法方式などに一切無頓着で只管達意用辨を主としてをる今その實例一二を擧げんに「ノー、サーベ」(知らぬとか分からぬとかいふ場合に用ふ)或は「ミー、ドンライク」(私は好まぬ即ち嫌ひといふ意なり)の如

英語としては不都合極まるものをドシ／＼用ひ之をば一種の支那人英語として白人に承認せしめて日常通用してをる之に就いて面白話がある曾て桑港のゐる市街鐵道の客車内に一人の支那人が坐を占めて居たところが追々乗客が詰込んで非常に雑沓せる折柄一人の貴婦人が入込んで来た然るにはや一の坐帯もなごまゝ立て居たするとこれを認た一人の男子(白人)が己が席の傍に坐せる彼の支那人に向ふてその坐を離れて貴婦人に譲れと命じた流石支那人も癪に障つたものと見ゆ意氣荒く斷然之を拒んだその挨拶はといふに「ユー・ファイセン、ミィ、ファイセン、オールセルム、ファイセン、ミィ、ドンケア」(あなた五仙、わたくし五仙、みんなおなじ五仙、わたくし、か

まひませんといふ意)であつた實に支離滅裂聞くに堪へざる英語ではあつたが先方にもよくその意が通じた上却りてその白人が一言もなく閉口して奴方の苦笑で事が濟んだといふ實話があるもしこの場合と言語が全く通ぜぬものであつたならどんな壓制を受けたりも知れない先づ支那人の英語なるものは凡そ斯様なもので勿論彼の英語そのものは斷じて做ふべからずだがその達意用辨の趣旨に至りては實にこそ彼の長所須らくわれ之を探るべしで就中在米同胞の常に營利を目的とするものは特に最も服膺すべき要件なりと確信する然り而して渡米後同胞が英語研修の方法如何といふに學生は勿論其他多少英語の素養ありて正式に研修の余裕あるものは直接に白人の

教師に就き或は白人の學校（普通グラママー、スクール）に入るに如くはなしされどもその余裕なきもの及び全然英語の素養なきものにして就中既に實際の營利に従事しつゝ早速に英語の効用を希ふものによりては到底前者の如き手段によることが出来ぬ（但し日本人の語學教師并日本人の宗教団体等に正式の語學校其他速成の夜學校もあるゆゑ之に就いて修むる事を得るものは然らずべし）元來外國語の利用は多く口と耳とによるものであるが兎角耳の慣熟する割合に口は練達せぬものであることに耳の方は已が注意と在留日數によりて而かも努めて白人に直接るやうになせば其内次第に慣熟して他の言が聞取れて來るがさて口の方に至りてはまことに困難で況ん

や英語の素養なきものによりては一層の苦心を要するなるが是れぞ所謂支那人の長所たる達意用辨の趣旨を只管服膺すべしで即ち先づ單語を主として獨修しもとより精しからぬ文法方式などには一切頓着せずドシ／＼單語を繋合はして已が思ふまに／＼言はんとする所を言ひ而して以て口を練るべし蓋し是れ一の捷徑たるべく且つ必要に迫られて實地に練習したものは却りて利用上の進歩速なるべきか編者が和英いろは字引なるものを編纂した（委細は巻首の廣告欄にあり）のも實は支那人の英語なるものに深く鑑みつゝ上記の廉につき大に慮る所ありて聊か後學の英語研修者の便に資せんがためである之を要するに渡米者は英語を解すると否とに頓着するを要せず

と斷言すると同時に渡米後其方法如何を問はず英語研修に深く心を
用ふべしと切に勧告する次第である

十三 職業の事

太平洋沿岸地方に於て我同胞の従事すべき職業は其種類實に多く而
かも年中働口の絶無といふ事はない就中四五月より九十月までの
交を以て働口の最も多き季節なりとす蓋し此交は農園果園等の極
めて忙しい時期で随ふて此方面に多數の労働者を需要するがため
ある今重なる職業の種類と其賃銀并職業を求むる方法に就き順次左
に之を列記しやう

○職業の種類と其賃銀

一、スクール、ボーイ School boy (學僕) 一週間 一弗五十仙より
二弗五十仙まで

是は重に下女下男等を置かぬ中以下の家でその妻君が自分の手助
に下男代として傭ふのであるが名の如く學僕で重に其働によりて
學資を得つゝ學問の修業を目的とするものであるさればその仕事
も他の働に比し極めて樂であるのみか毎日一定の修學時間(普通
午前八九時頃即ち學校の始まる時間前より午後三四時頃即ち學校
の終る時間までを標準として)を與へてくれる而して右の時間
前後に爲す仕事はといふに各家によりて異なるが萬事妻君の指圖に
より概ね先づ朝一番早く起きて竈の火を焚付け飯の仕度を始めと
し臺所其他の雜用をしてをるその内に妻君が起きて來て料理に取

懸るゆゑその手傳をなすやがて朝飯の時刻となり已も之を喫し終る頃ははや學校の始まる時間（或は最初約束の外出時間）となるよりてそのまゝ晝辨當を用意して外に出掛けるその後は學校に行かうが何處で勉強して居やうが或は遊んで居らうが巳の勝手次第であるが午後歸るべき約束の時間には違はず戻りて來ねはならぬ而して後の仕事は第一に朝晝兩度の食事に用ひた皿及び器具一切を洗つたり磨いたり其他臺所を片付ける事でこれが終ると或は拭掃除又は芋の皮剥きなどをなし晩食前には再び妻君の料理を手傳ひ或は晩食の仕度をなし晩食後には復た之に用ひた皿及び器具一切を洗つたり磨いたり其他臺所を片付ける之れでその日の仕事は

全く終を告げるので時は夜七八時頃となるこの時間後こそ眞のわがもので内に勉強してゐるやうが寢に就かうが外出しやうが何時に歸らうが（但し家によりては時間に制限を置くのもあるが）自由自在である
平日は右の通りを繰返すに止るが土曜日（此日は諸學校悉皆休業するの國風である）は學校が休みであるところより此日に限りて晝間の修學時間は與へてくれぬ而して平日の仕事以外に此時間内に於て一週間溜つた汚物を洗濯させられるし窓拭其他家屋内外の拭掃除をやらせられる畢竟土曜日が一週中の一番忙しい骨の折れる日である然れ共其翌日即ち日曜日（此日は總べての職業を

休日即ち一週中の所謂安息日といふ國風である) は一寸朝食前後に臺所の雑用を済ました後は終日休暇をくれる(尤も家により一寸晩食前に歸らすのもある) ことになりてをる元來この働は前にも述べた如く他の働に比し最も樂で上品でことに學生は勿論學問修業の目的のものには至極詭向である英語を多少解するものは給料も多くとれるし好い家にも備はれること勿論であるが解せざるものも随分備はれるし兎に角何人にも出れる諸勞働中の第一初步である且つ常に妻君始め一家のものとして親しみ近々の機會多きがため英語の練習には極好都合である上白人家庭の模様を始め料理法其他一般家内の勞働の仕方をも會得することを得殊に幸にし

て親切な妻君に出遇ふときは意外の利益を享くこともありまた圓滿な家庭に際會するときは自から快樂を覺へて勞苦を忘るることあり要するに初めて勞働に従事せんとするものは先づ此働に就くを可とす

一、ハウス、ウワーク Housework (家内働) (甲) 一週間三弗より四弗まで (乙) 一ヶ月十五弗以上

是は純然たる下男働でその給料は一週間拂と一ヶ月拂との二種ある(是は傭主の定むる處であるが場合によりては最初の掛合一つで孰れにもなる) 而してその仕事の工合は傭主の家の上中下將たその家屋の大小廣狭によりて大に趣を異にするが普通は矢張り萬事妻君の指圖の下に朝早く起きて籠の焚付けより屋外の水撒さ

屋内の拭掃除洗濯拭洗濯さては料理の手傳其他一切の家内働及
 使行等をなし午後七八時頃まで殆んど終日立働くので尤もその用
 濟後及び日曜日(前項スクール、ボーイの場合と略異ならずであ
 るが兎に角終日逐使はるゝ事速スクール、ボーイよりは餘程骨が
 折れるされども流石文明國だけありて一つ螺旋を捻れば水も出る
 し燈もつけられるし其他拭掃除などの用具も器械が夫々整ふてあ
 るし第一服装もちやんと一通り洋服をつけ之れは清潔なるエプロ
 ン(白布の胸掛兼前垂様の)のものでこれは各自か二枚は是非共買求
 めてゆかねばならぬ代價は普通一枚十五仙位なり)をつけてをら
 ねばならぬし靴は自分の室以外にありては如何なる場合と雖も脱

ぐことを許されぬ靴などにならうものなら失禮に當りて大に叱ら
 れるのみか巡査に見咎められるれば罰金を取られる外に出づるとさ
 は如何なる急用の場合と雖ども必ず帽子を被らねばならぬ帽子な
 しに往來するのを巡査に認められるれば是亦た罰金に處せらる蓋し
 以上の服装に關することは國風とは云へ一見以て我國の下男など
 は大に其品を異にしてをる加ふるに仕事の輕易労働時間の有限
 ことに一定時間後の自由及び日曜祭日の休暇其他食事の良好(勿
 論肉食にして家人のもの大差なし)部屋の整備(如何なる粗末
 な家でも一人一室で寢臺夜具は勿論家によりては瓦斯若くは電気
 燈の設もあるし椅子机等の備もある(況んや給料の高き到底我國

の下男如き下賤にして奴隸に均しかるもの、比ではない英語をよく解するものはどよい口にありつくはいふまでもないが解せざるものと雖どもこの口を得られる畢竟此働は市内の諸労働中口の最も多いものである

一 ハウス、ウワーク、ブレーンクック

House work, plain cook

(甲) 一週間五弗以上
(乙) 一ヶ月二十弗以上

是は前項のハウス、ウワーク(家内働)の外に尙ほ一寸した手輕の料理(料理の事に關しては次のクックの項に就て知るべし)を兼ねてなすもので隨て給料も多し尤も此場合に於ける料理といふはほんの手輕な而かも普通通りさつた三食の料理をなすに過ぎない

いゆを少しく西洋料理の拵へ方を心得てをるものならドイヤラ一ヤラ間に合はないことはない随分料理など少しも知らぬものが大膽に此口にかゝりてゆくが多くは遺損ふて出される先づ此口は少しにても料理を心得てをるものに限るが英語は左程心得てをらぬものでも勤められる

一、クック Cook (料理人) 一ヶ月 二十弗より五十弗まで

此料理人の仕事は諸働中給料の最も高きもので(腕次第で五十弗以上の給料もとれる)且つ一番割がよく加ふるに料理法さへ心得てをれば何地へ行きても相當の給料がとれて決して困ることがない位である尤も一口に料理といふもの、中々種類が多かつたとい

ば素人家などでいふフレンクツクの如き極めて單易な定式ものは殆んど素人にも出来る位であるがさて本式の料理人ことに料理店などに備はれんとするには余程實地に斯道の經驗を積まねばならぬ随分料理法に關する案内書が澤山あるゆゑ之等を參考するも必要であるがスクールボーイ、ハウスウヲークなどに働いてをる内によく心懸けて妻君やクツクの料理するのを注意して覺へ込むこと最も肝要である要するに勞働によりて金を蓄へんとするものはクツクとなるに加くはない

一、ウエーター Water (給仕人) 一ヶ月 二十弗より三十弗まで
是は素人家(これも家の上中下其他家風によりて異なる) 旅店、料理

理店若しくは俱樂部など働先の相違によりてその仕事も異なるか普通第一の勤務は食卓の整頓食事の給仕でその間に食堂(ダイニン グルーム)などの拭掃除や客の取次などをするものである給仕をするときは必ず白の短上衣(ホワイトジャケット)又は黒のタク スィードア(燕尾服の形でその上衣の燕尾を切取つたもの即ち夜食のとき用ふる略式禮服である)を着用せねばならぬし總じて平生より服装頭髮顔手など其他身邊を極めて清潔に寧ろ奇麗にしてをらねばならぬのみか英語は勿論其他十分に白人の事情に通じてをらねばならぬ故に此働は到底新來者の早速に需むべき口でない

一、バター Butter 一ヶ月三十弗より四十弗まで

一、ヴァーレー Val. 一月二十五弗より四十弗まで
 此二種は殆んど大同小異で（勿論ヴァーレーの方が一等上に位するが）孰れも高等（ハイトン）の家でなければ備はぬものである
 即ちその仕事は常にその家の主人の側近くに仕へてその衣服其他身邊一切の世話をなし場合によりては執事の役をもするので小姓とか近侍とか侍者（側仕）とか譯したら當らずといへども遠からずであらう兎に角、働の種類中最高等のもので英語は勿論其他十分に白人の事情に精通せねばならぬことはウェーター如きの比にあらずし到底在留日港さもの、勤まるべき役柄ではない
 以上は働口の最も重なるもので且つ皆な悉く主家に住ひ（役柄に應

じて相當の一室を充ててくれる）主家で食ひ（ウェーター、パトラ
 一、ヴァーレーなどになると衣類の洗濯賃を主人方で持てくれる）
 給料はほんの己が身邊に小遣其他の費用にするのみであるが尙ほ以上の外に同じハウスウヲーク（家内働）でも半日働のものもあり住込まずに通勤のものもあるし食事も自分持で通勤する酒屋働（一週間八弗より十弗まで）あり菓子屋働（給料は略ぼハウスウヲークに同じ）あり洗濯屋働（働先で食住して一週間六弗より八弗まで）あり皿洗（單に皿のみを洗ふもので多く料理店に備はれ先で食事して通勤するもの一週間五弗以上、または一ヶ月二十弗以上）ありもし夫れ日備働の類に至りては窓拭（一枚につき五仙）または一日一弗五

十仙より一弗七十五仙但食事(自分持)を始めとしその種類極めて多(多)い其他市中に於ける諸種の職業は頗る夥多にして逐一枚舉に遑(いとま)わらずである然れども白人の商店製造場の如(ごと)く其他會社銀行等に於ける事務員若しくは事務見習に屬する種類のものに至りては(この太平洋沿岸地方に於ては)吾々東洋人は到底その口を望んでも得られない若し得たらんには寧ろ稀有の珍事といふてもよい位である蓋し是れ亦た一には東洋人排斥の餘響と一には土着の白人及びその子弟が(給料も比較的大に安い)専らその需要に應じて余りあるとに因るべしと惟ふ

さて市中に於ける職業は大略上記の如くであるが市外寧ろ地方(田

舎)に於ける職業は如何といふにその重なる種類と賃銀とを擧ぐれば左の如くである

一、果園働(俗にフルーツと唱ふ)

一日一弗以上一弗五十七仙以下
但食料は一日分廿五仙以下にして
給料の内より支拂ふものミナ

是は櫻、桃、梨、杏子、林檎、葡萄などの果實を採りたり之を割(き)り核を取りたり或は之をトレー(臺)に並べて天日で干したり持運(はこ)んだり箱詰にしたりして終日(普通午前六時頃より午後日没前まで但し午食後暫時休憩)野外に出で、立働(たちばたら)くので(尤も假小屋の内)で腰掛けてやる仕事やピースワーク即ち數仕事といふて自分の出來る丈の數を適宜にやる樂な仕事もあれど之を市中の家の内的勞働に比すれば余程骨が折れる就中葡萄採などに至りては一

層の勞苦であるが身体壯健のもので忍耐の強いものは兎に角賃銀がよいし且つ我國などの野外勞働よりは遙かに樂でもあるゆゑ之れに従事するも可なりである況んや曾て故郷にありて農事其他野外勞働をしたものは之れに従事すべしである

一、農園 働

賃銀其他果園 働に同じ

是は全然農事の勞働でハツプス摘。或は砂糖大根 (シユーガー、ピーツ)。赤茄子 (トマト)。胡瓜 (キューカンバー)。芋 (ポテト) を始め諸作物の耕作採收其他一切の農事をやるので到底柔弱なものには出來ぬされど之れを我農事に比するときは此國の農業は元來大農的で而かも總べての器械道具が整つてをる故至極樂である

わるとされば我國で農夫を働かして鋤鋤の覺あるものは云ふまでもなく身體強健でその勞力に耐へ得らるゝものは之れに従事すべしである

一、鐵道 働

一日一弗以上一弗二十五仙以下

是は純然たる鐵道工夫の働で姿細は廣告欄に掲載せる各鐵道工夫募集もしくは受負者の廣告に就いて知るべし

右等の外樵夫、水火夫 (漁船の) 鑛山坑夫或は漁夫 (ヴァンクローグ) の鮭漁は最も有名なり) 其他之を求むれば地方に於ける働口の種類も亦尠からずである

總じて上記の田舎働は概ね日本人のボツス (親方) なるもの (果園

及農園働の場合の如き) 又たはその人夫受負募集者なるもの(鐵道
 工夫の場合の如き) ありてこの者が雇主たる白人と契約の上その需
 要する労働者(俗にボーイといふ)の供給を受負ふて之れを募集し
 自から之れを率ゐ指揮監督して各業務に就かしむるので賃銀の如き
 もこの受負募集者(以下、ボツスをも含む)が白人より纏めて請取
 り而して此内より各食料其他差引くべきものを差去りてその残額を
 各ボーイに拂渡すのである要するにこの受負募集者なるものは終始
 雇主とボーイ(労働者)との中間にありて双方に責任を負ふて立つも
 ので(往々ボーイに拂ふべき金を持逃げして姿を晦ますなど随分無
 責任極まる好悪のものあり用心すべし)或點からいへばこの受負募

集者は労働者に對しては常に親分子分たるの關係のみならず寧ろ直
 接の雇主たるべき關係を有してをるさればその募集に應じ萬事一切
 その指揮監督の下に働くボーイは毫も英語を用ふるの必要はなく唯
 く器械的に手足を勞するのみで足りるのでその勞にさへ堪く得らる
 らぬものなれば何人にてても従事し得べきわけである然れども身にはジ
 ヤンパ ブルーパンツ(共に青色木綿の労働服でジャンパはその上
 衣ブルーパンツはその股引値段は各五十仙宛位である)を着け
 (但し帽子と靴とは必ず着けるし我國の農夫人夫などよりはずつと
 上品なれど)終日炎天に曝されつゝ汗を絞り寝るには満足の家(こ
 の家は普通雇主より受負募集者に無料で貸與するのである)としては

なくいともおやしき小屋の（俗にキャンブといふ）板上又は藁内に持参の毛布を纏ふのみでたとへ専務の料理人（募集者が備入れたる）ありとも高が一日廿五仙以下の賄口に合ふ筈はなく場所によりては募集者が酒舖的に鐘詰其他酒類などを供給してくれるが之を買へば買ふ程賣方の募集者はその利潤を増せども買方のボーイは其代價を勞銀より差引かれて所得減する次第であるがゆゑつとめて買扣へなければならぬ大略以上の如き衣食住の爲体にて而かも此地の仕事が終われば彼地へと宛かも水草を逐ふが如くに仕事のある地へ轉々してゆかねばならぬ要するに田舎働は殆んど戰場に出陣すると同様で弱卒は到底其任に堪へ難いかるがゆゑに會て勞働に經驗なきもの

は果園働を除くの外他の田舎働につくよりも市中の家内の勞働につくを寧ろ得策とす（田舎働で疲勞又は病氣にて業を休んだ場合には勿論勞銀はくれぬが食料は徴收れるため往々勞銀と差引して尙ほ若干の借をつくることあり）然れども勞働で体を鍛へたるものは之れに堪へらるゝもので英語の素養もないものは言語の心配はなく服装などに左迄の面倒はなし第一賃金の割は大によし且つ我國の勞働よりは樂であることに由來多額の金を蓄へて故郷に歸つたものは却りて此働についたものに多いなどの諸點より打算れば宜しく此田舎働に従事すべしである
終に臨んで注意すべき事がある之は他でない均しく職業といふても

之れを大別すれば市内と地方(田舎)若しくは家内と野外との二種で而かも各人の体質等によりてその選を異にすべきは前に述べた如くであるが尙ほ爰に各人の目的方針によりて各職業の就き方に最も注意せねばならぬ要件がある
抑も労働の覺悟を以て此地へ遙々渡米する同胞は概ね之を修學の目的と蓄財の目的との二種に大別することができると言ひ換ふれば一は即ち労働によりて學資を得而して志願の學業を修めんと欲するもので他は即ち労働によりて只管金をのみ貯蓄せんと欲するもので大にその目的方針を異にしてをる隨て各々の職業の就き方に相異の注意を要するは當然のことである然り而して後者の只管蓄財をのみ目

的とするものにありては云ふまでもなくその目的が唯一の貯金にあるを以て唯々賃銀の多い働口を需むるの意切なるは人情の然らしむる所であるが往々にして賃銀は極めて高いがその支拂が滞りたり甚しきは支拂はれないで徒勞に屬する事がある或は日備働にありては仕事の中絶や休業(傭主の都合で)の多いものがあるといふ事情のため之れらを差引して一週又は一ヶ月に平均勘定すると却りて割悪いものが少からずある故に唯だ賃銀の高いのみを標準とせずによく働先を吟味して篤と差引平均勘定をなした上で職に就くの注意は頗る肝要であるこの注意は前者の修學を目的とするものにありても亦た必要であるが此種の人士には更らに意を用ふべきことがある蓋

し最初より働きたつ、修學すべきか或は最初は後者の如く労働一方に
従事して必要なる學資を貯蓄し而して後ち専心學業に従事すべきか
は各人の心身に訴へ諸種の參考材料によりてよく判決せねばなら
ぬ要件である。

○職業を求むる方法

前項の職業を求むるには概ね左の方法による

一 桂庵又は他の勤口周旋所による事

現在日本人で頭書の業を営めるもの甚だ多い(委細は附録の營業
案内及廣告欄を見よ)のみか日本人を備はんとする白人は専らこ

の日本人營業所に申込んでくるされば同所には絶へず勤口が申込
まれて逐一見易き場所に書出されあむ故に勤口を求めんとするも
のは同所に赴き或は暫時此處に留り或は各同業所を廻り歩いてを
るその内に就けたり書出されたる勤口で己が意に適ひさうなもの
を選びてその主任者に告ぐれば早速傭主を照會した名札をくれる
よりてこれを持參して先方に到り交渉した上(尤も英語を解せざ
るものは致方なきも)先方の意にも叶ひ己が心にも適ふて愈々働
くことに談が調ふと(たとへ不調となりても)その旨直に照會し
てくれた桂庵(勤口周旋所)に通ずるのである而してその日より三
日以内に暇を出されるか或は暇を取りて出るものは別に周旋料を

拂ふには及ばないが其以後尙は繼續して働いてをるものは必ず一定の周旋料を支拂ふべきことになりてをるその周旋料は普通一ヶ月又は一ヶ月分に相當する（一週間何弗といふ給料の場合の如き之を一ヶ月分に換算す）給金額の一分といふ定めであるがスクールボーイに限り特に一口に付五十仙と定めてをるのもある但し日傭働は以上の例外である

一ポツス又は人夫受負募集所の募集に應ずる事
是は専ら田舎働に屬すもので大略前に述べたれば之を略す但しポツス又は受負募集者の徴収る口銭は一人に付一日五仙以上のものもあり一ヶ月一弗以上のものもある尙は日本人で人夫受負募集

に従事せるもの其數尠からず廣告欄を参照すべし

一新聞廣告による事
是は最も進歩した方法である近年我國の新聞も外國新聞に倣ふてその紙上に職業案内の欄を設けてその廣告を扱ふもの多くなつてきたが就中米國の新聞は余程以前から盛に此種の廣告を扱つてゐる而して前日頼めば翌日の紙上には必ず掲載してくれしそれが賣れる新聞であれば概ね少なくなるとも一二の口が懸りてくる流石廣告を重んじ之を利用せる國柄だけある

此種の廣告文は我新聞紙上の職業案内欄にあるものと同様成るべく簡明をよしとす書式は各勝手であるが今その一二の例を左に示

（廣告者の住所姓名は之を顯してもまた匿名にして新聞社に托しその備付の郵便函の番號を附記して貰つてもよい）
Japanese boy wishes situation as School boy.

（日本男子スクールボーイの口を求む）

Young Japanese wishes situation to do house work, speaks English.

（英語を話す青年の日本人ハウスウワークの働口を求む）
右の如き文例でその廣告料は普通一日分十五仙内外三日分（割引）
卅仙内外である但しこの廣告は土地でよく賣れる新聞を選ぶ事と
成るべく土曜、日曜日（讀者が落付てよく見るゆゑ）にかけて掲

載するを得策とす住所姓名を明示した場合は直接其所へ郵書が來
るが新聞社の郵便函宛にした場合には時々その新聞社にゆきて最
初廣告依頼の節同社より交付された番號札を示し郵便の着否を調
べねばならぬのである

一以上の外日本人団体（多くは教會などの宗教団体）の照會若しく
は知己友人の手蔓によるも一手段なれども是は特殊の方法といふ
べし

十四 貯金と送金の事

太平洋沿岸地方にはもとより銀行頗る多いが日本の銀行は目下唯一
の横濱正金銀行支店あるのみ而してその營業は重に大取引で假令小